

Photo Changer

取り扱い説明書

シリアルナンバー

DE-268

※シリアルナンバーを再発行することはできません。
シリアルナンバーはアップデートファイルをダウンロードする際や
ユーザー登録をする際に必要となります。

ユーザー登録はこちら
<http://www.de-net.com/user>

製品ご利用前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。

目次

動作環境・ご注意	2
インストール・アンインストール方法	3~5
起動方法	6
基本の使い方	7
画面・各部の説明	8~21
画像を開く	22~24
画像を取り込む	25~27
新しい画像を作る	28
画像の表示倍率を変更する	29~31
編集した画像を保存する	32~33
印刷する	34~38
画像の編集機能	39
レイヤーの操作と設定	40~54
領域を操作する	55~64
画像を編集する	65~79
画像を加工する	80
暗室(現像作業を再現)	81~86
修正(画像を補正)	87~96
効果(エフェクト加工)	97~103
ペイント(ペン加工)	104~113
カラーパネルの使い方	114~116
ブラシパネルの使い方	117
ソフトウェアをダウンロードする	118~120
Q&A	121~124
ユーザーサポート	裏表紙

動作環境・ご注意

動作環境

対応 PC OS	メーカーサポートを受けられるWindows/パソコン Windows XP(Home / Pro)/Vista / 7 ※Mac OSには対応しておりません。 ※日本語版OSの32ビット版専用ソフトです。Windows 7のみ64ビット対応です。 OSが正常に動作している環境でお使いください。 対応OSの動作環境を満たした環境でのご利用が前提となります。 最新のサービスパック及びアップデートがされている環境でお使いください。 Server OSには対応しておりません。管理者権限を持ったユーザーでお使いください。 マイクロソフトのサポート期間が終了しているOSでの動作は保証いたしません。
CPU	1.0 GHz Pentiumまたは同等クラスのプロセッサ以上
メモリ	512MB以上必須1GB推奨 (Windows Vista、7の場合は1GB以上必須)
ディスプレイ	1024×768以上の解像度で色深度32bit True Color以上表示可能なもの
CD-ROM	倍速以上
ハードディスク	1GB以上の空き容量(インストール時)※これ以外にデータ保存の為に空き容量が必要となります。
スキャナー	TWAIN32ドライバが対応しているスキャナー ドライブとして使用可能なTWAIN32ドライバが対応しているデジタルカメラ
プリンター	正常に動作するレーザーもしくはインクジェットプリンター ※プリンターの印刷可能領域によっては、印刷内容が一部切れてしまう場合もあります。 ※一部のプリンターではパソコンとの組み合わせ等により、印刷できない場合もあります。 (複合機等の特殊な構造をしたプリンター等で発生しやすい現象となっております。)
タブレット	ワコム社製タブレット / Yutron社製タブレット
対応ファイル	読込可能形式: bmp / dib / ico / jpg / jpeg / orf / pict / pct / png / psd / rgd / tga / tif / tiff 保存可能形式: bmp / dib / ico / jpg / jpeg / orf / pict / pct / png / psd / rgd / tga / tif / tiff
その他	インターネット接続環境推奨 本ソフトのアップデートを行う際にインターネット環境が必要となります。

ご注意

- ※ソフト上での制限はありませんが、一度に大量の画像を読み込むとパソコンの動作等に遅延がみられる場合があります。
- ※bmp / dib / ico / jpg / jpeg / orf / pict / pct / png / psd / rgd / tga / tif / tiffファイルは、一般的なWindows標準のファイルを基準としています。
特殊なファイル (CMYKカラーモードの物や、Web表示に特化したファイル等) は、本ソフト上では正常に出力できない場合があります。
- ※文字の書体はお使いのパソコンにインストールされているフォントの中から選んで使用することができます。
- ※本ソフトにはフォントは収録されておりません、また一部のフォントは使用できない場合もありますのでご注意ください。
- ※bmp / dib / ico / jpg / jpeg / orf / pict / pct / png / psd / rgd / tga / tif / tiff以外の形式の読込、保存はできません。
- ※一部機種を除く orf ファイルに対応しています。
- ※PSD形式で保存の場合、お使いのOS(Mac OS)やAdobe Photoshopのバージョンによっては正常に開けない場合があります。
- ※パソコン上で正常に表示できるファイルのみの対応となります。全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。
- ※画像によっては得られる効果・結果が変わります。
- ※著作権法を厳守してご利用ください。著作権により保護されている画像データや、本製品で使用したことにより生じたトラブルに関しましては一切責任を負いかねます。
- ※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。予めご了承ください。
また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。
- ※各種ソフトウェア、またパソコン本体などの各種ハードウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。
- ※本ソフトを著作者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。
- ※弊社のソフトは1つのパソコンに1ユーザー1ライセンスとなっております。
本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。
- ※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。
- ※著作者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されています。
- ※Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- ※Mac、Mac OSは米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
- ※Adobe Photoshopはアドビシステムズ社の商標です。
- ※ワコムは株式会社ワコムの商標又は登録商標です。
- ※Yutronは米国Yutron Co., Ltd.の商標又は登録商標です。
- ※Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションの商標又は登録商標です。
- ※その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、商標又は登録商標です。
- ※本製品は、株式会社ネットのオリジナル製品です。

インストール・アンインストール方法

インストール方法

お使いのパソコンに『photo changer』をインストールします。



インストールする前に・・・

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

- **ハードディスクの空き容量**
ハードディスクの空き容量が1GB以上（左記以外に作成するデータ用の空き容量も必要）が必要です。
 - **管理者権限について**
インストールするパソコンの管理者権限を持っている方がインストールを行ってください。
 - **アプリケーションソフトの停止**
インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。
- ※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。



手順1

CD-ROMドライブに本パッケージのCD-ROMを入れます。

CD-ROMが認識されると、左のような画面が自動で表示されますので、内容を確認して **次へ** ボタンをクリックします。



インストールが自動で始まらない場合

次の手順でインストールを始めてください。

- ① コンピューター(※)をダブルクリックします。
 - ② CDまたはDVDドライブをダブルクリックします。
 - ③ [setup]をダブルクリックします。
- ※Windows XPは[マイコンピュータ]と表示されています。
※Windows Vistaは[コンピュータ]と表示されています。



[setup]をダブルクリックします。

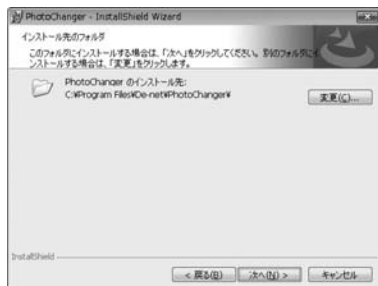


手順2

使用許諾契約の内容を確認します。

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。

インストール・アンインストール方法



手順3 インストール先のフォルダーを確認してください。

インストール先を変更することができます。
変更しない場合は **次へ** ボタンをクリックしてください。インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックして、インストール先を選択してから **次へ** ボタンをクリックしてください。
通常はインストール先を変更しなくても問題はありません。



手順4 インストールを開始します。

インストールの確認画面が表示されます。内容を確認し、インストールを行う場合は、**インストール** ボタンをクリックしてください。




手順5 インストール完了です。

インストールが正常に終了すると左のような画面が表示されます。
完了 ボタンをクリックしてください。

アンインストール方法

お使いのパソコンから『Photo Changer』をアンインストール（削除）します。

本ソフトを完全に終了して  ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「Photo Changer」を選択して「アンインストール」をクリックすると確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックするとアンインストールが実行されます。

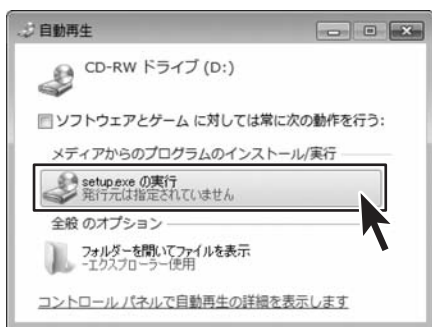
※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」からアンインストールを行ってください。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストールと変更」からアンインストールを行ってください。

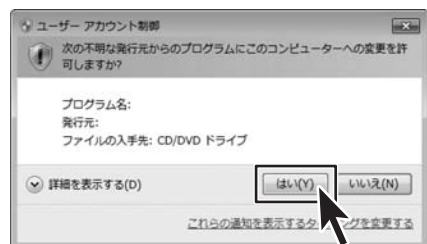
インストール・アンインストール方法

memo

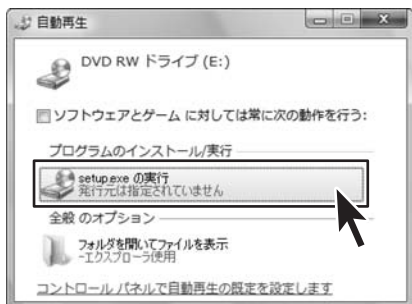
インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合
次の手順で作業を続けてください。



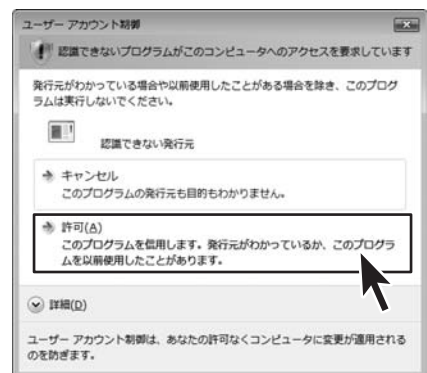
Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
[はい]をクリックしてください。

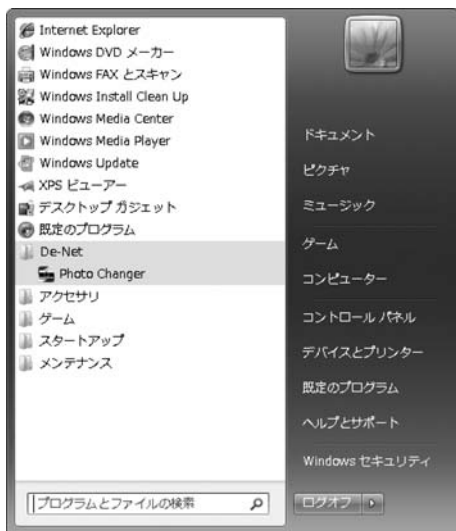


Windows Vistaで[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows Vistaで[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
[許可]をクリックしてください。

起動方法



ソフトウェア最新版について

ソフトウェア最新版を弊社ホームページよりダウンロードを行い、お客様がお使いのソフトウェアを最新のソフトウェアへ更新します。

ソフトウェア最新版をご利用いただくことで、より快適に弊社ソフトウェアをご利用いただくことが可能となります。下記、デネットホームページよりソフトウェアの最新情報をご確認ください。

<http://www.de-net.com>

スタートメニューからの起動



ボタン（Windows XPの場合は[スタート]ボタン）をクリックして「すべてのプログラム」→「De-Net」→「Photo Changer」とたどって「Photo Changer」をクリックしますと本ソフトが起動します。

デスクトップショートカットからの起動



← 「Photo Changer」 デスクトップショートカットアイコン

PhotoChan...

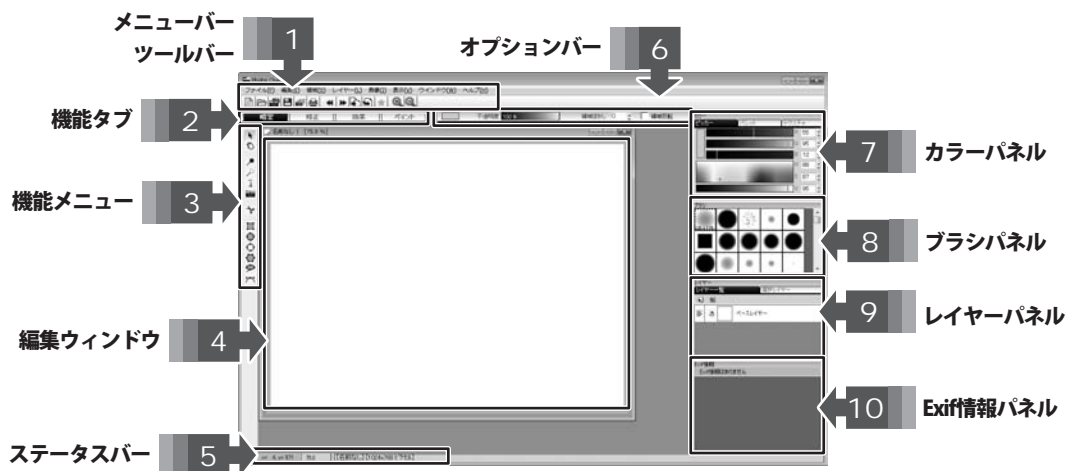
正常にインストールが完了しますと、デスクトップに上の様なショートカットアイコンができます。ダブルクリックをすると、本ソフトが起動します。

基本の使い方

Photo Changerの基本的な使い方を説明しています。

画面・各部の説明	
メイン画面	8～18
ファイル一覧画面	19～21
画像を開く	
ファイル一覧から画像を開く	22
ファイルを指定して開く	23
クリップボードから開く	24
画像を取り込む	
デジタルカメラから取り込む	25～26
スキャナから取り込む	27
新しい画像を作る	28
画像の表示倍率を変更する	
画像の表示倍率を変更する	29～30
編集ウィンドウのサイズを調整する	31
編集した画像を保存する	
ファイルに名前をつけて保存する	32
上書き保存する	33
印刷する	
編集した画像を印刷する	34～35
編集した画像をシール用紙に印刷する	36
インデックス印刷する	37～38

メイン画面



1 メニューバー・ツールバー

ファイル(F)	
新規作成(N)...	Ctrl+N
開く(O)...	Ctrl+O
ファイル一覧(I)...	
クリップボードから開く(B)	
保存(S)	Ctrl+S
名前をつけて保存(A)...	Ctrl+Shift+S
すべての編集を取り消す(E)...	
閉じる(C)	
デジタルカメラから入力(O)...	
印刷(P)...	Ctrl+P
環境設定(T)	
ファイル名ヒストリのクリア(H)...	
終了(X)	Alt+F4

ファイルメニュー

新規作成

新しく編集ウィンドウを開いて白紙の画像を作成します。

開く

保存されている画像ファイルを開きます。

ファイル一覧

保存されている画像ファイルをサムネイルで確認して開きます。

クリップボードから開く

コピーした画像を開きます。

保存

作成した画像を保存します。

名前を付けて保存

作成した画像に名前を付けて保存します。

すべての編集を取り消す

すべての編集作業を取り消して、「Photo Changer」で画像ファイルを開いたときの状態に戻します。

閉じる

画像ファイルを閉じます。

デジタルカメラから入力

パソコンに接続されているデジタルカメラに保存されている画像ファイルを開きます。デジタルカメラの他、スキャナなどTWAIN対応機器から画像を取り込んで開くことも出来ます。

画面・各部の説明

ファイル(F)		
	新規作成(N)...	Ctrl+N
	開く(O)...	Ctrl+O
	ファイル一覧(I)...	
	クリップボードから開く(B)	
	保存(S)	Ctrl+S
	名前をつけて保存(A)...	Ctrl+Shift+S
	すべての編集を取り消す(E)...	
	閉じる(C)	
	デジタルカメラから入力(O)...	
	印刷(P)...	Ctrl+P
	環境設定(T)	
	ファイル名履歴のクリア(H)...	
	終了(X)	Alt+F4

ファイルメニュー

編集(E)		
	元に戻す(U)	Ctrl+Z
	やりなおす(R)	Ctrl+Y
	コピー(C)	Ctrl+C
	貼り付け(P)	Ctrl+V
	切り取り(D)	Ctrl+X
	素材フォルダ(B)...	

編集メニュー

印刷

編集した画像を印刷します。

環境設定

色の管理画面を開いて色の設定を行います。

ファイル名履歴のクリア

最近開いた画像ファイルの履歴を消去します。

終了

「Photo Changer」を終了します。

元に戻す

直前に行った編集作業を取り消して、元の状態に戻します。

やりなおす

元に戻すで取り消した作業をやりなおします。

コピー

画像全体、または領域内の画像をコピーします。

貼り付け

コピーされた画像を貼り付けます。

切り取り

画像全体、または領域内の画像を切り取ります。

素材フォルダ

素材が保存されているフォルダを開いて画像に貼り付ける素材を選択します。

画面・各部の説明

領域(S)



領域メニュー

すべて選択

画像全体を選択して、領域を作成します。

選択の解除

現在選択している領域を解除します。

レイヤーサイズで選択

現在編集しているレイヤーのサイズで選択して、領域を作成します。

領域ぼかし

領域の周囲をぼかします。

領域の反転

選択した領域を反転します。

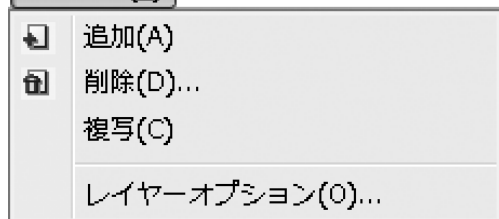
トリミング

選択した領域内の画像を切り取って新しい画像として表示します。

領域外の表示

選択した領域の外側をどのように表示するか設定します。

レイヤー(L)



レイヤーメニュー

追加

新しいレイヤーを追加します。

削除

現在編集しているレイヤーを削除します。

複写

現在編集しているレイヤーと同じレイヤーを作成します。

レイヤーオプション

レイヤーオプション画面を開いてレイヤーの名前やレイヤーの表示方法等を設定することができます。

画面・各部の説明

画像(I)

レイヤーマスク編集(M)
クリア(C)
グラデーション作成(G)...
Exif情報をクリア(X)...
ヒストグラム(H)...
画像の結合(F)
複製(L)
大きさを変えて複製(Z)...
上下反転して複製(U)
左右反転して複製(E)

画像メニュー

レイヤーマスク編集

レイヤーマスクを作成します。

クリア

現在編集しているレイヤーの画像を削除します。

グラデーション作成

選択した描画色でグラデーションを作成して塗りつぶします。

Exif情報をクリア

画像のExif情報を削除します。

ヒストグラム

ヒストグラム画面を表示して、画像の明るさや色の補正を行います。

画像の結合

現在表示されているレイヤーを1つのレイヤーにまとめた画像を作成します。

複製

編集中の画像を複製して新しい画像を表示します。

大きさを変えて複製

編集中の画像の大きさを変えて、新しい画像として表示します。

上下反転して複製

編集中の画像を上限反転して、新しい画像として表示します。

左右反転して複製

編集中の画像を左右反転して、新しい画像として表示します。

表示(V)

<input checked="" type="checkbox"/>	カラー(C)	F2
<input checked="" type="checkbox"/>	ブラシ(P)	F3
<input checked="" type="checkbox"/>	レイヤー(L)	F4
<input checked="" type="checkbox"/>	Exif情報(E)	F5
	タブレット設定(T)	F6
	ズームイン(U)	Ctrl+T
	ズームアウト(D)	Ctrl+D
	ズーム(R)	▶
<input checked="" type="checkbox"/>	座標表示(S)	
	ルーラー(O)...	
<input checked="" type="checkbox"/>	選択したレイヤーのみ明るく表示(Y)	Ctrl+W

表示メニュー

カラー

カラーパネルの表示 / 非表示を切り替えます。

ブラシ

ブラシパネルの表示 / 非表示を切り替えます。

レイヤー

レイヤーパネルの表示 / 非表示を切り替えます。

Exif情報

Exif情報パネルの表示 / 非表示を切り替えます。

タブレット設定

タブレット設定画面を表示します。

ズームイン

画像を1段階拡大して表示します。

ズームアウト

画像を1段階縮小して表示します。

ズーム

指定した拡大率で画像を表示します。

座標表示

ステータスバーの座標表示の表示 / 非表示を切り替えます。

画面・各部の説明

表示(V)

<input checked="" type="checkbox"/>	カラー(C)	F2
<input checked="" type="checkbox"/>	ブラシ(P)	F3
<input checked="" type="checkbox"/>	レイヤー(L)	F4
<input checked="" type="checkbox"/>	Exif情報(E)	F5
	タブレット設定(T)	F6
	ズームイン(U)	Ctrl+T
	ズームアウト(D)	Ctrl+D
	ズーム(R)	▶
<input checked="" type="checkbox"/>	座標表示(S)	
	ルーラー(O)...	
<input checked="" type="checkbox"/>	選択したレイヤーのみ明るく表示(Y)	Ctrl+W

画像メニュー

ウインドウ(W)

	ウインドウサイズの調整(F)	F12
	重ねて表示(C)	Shift+F5
	並べて表示(T)	Shift+F4
	最小化ウインドウの整列(I)	
	すべて閉じる(A)	
<input checked="" type="checkbox"/>	1 名前なし [100.0 %]	
	2 名前なし [100.0 %]	

ウインドウメニュー

ヘルプ(H)

	サポートページへ(S)
	バージョン情報(A)...

ヘルプメニュー

ルーラー

ルーラー画面を開いて定規の表示設定を行います。

選択したレイヤーのみ明るく表示

大きさの異なるレイヤーが複数ある場合の表示方法を選択します。

ウインドウサイズの調整

画像サイズに合わせて編集ウィンドウのサイズを調整します。

重ねて表示

複数の編集ウィンドウを重ねて表示します。

並べて表示

複数の編集ウィンドウを並べて表示します。

最小化ウインドウの整列

最小化している複数の編集ウィンドウを整列します。

全て閉じる

現在「Photo Changer」が開いている編集ウィンドウを全て閉じます。

サポートページへ

デネットホームページ内、よくある質問のページをブラウザで表示します。

バージョン情報

「Photo Changer」のバージョン情報を表示します。

画面・各部の説明



「新規作成」

新しく編集ウィンドウを開いて白紙の画像を作成します。
ファイルメニューの新規作成と同じ働きをします。



「デジタルカメラから入力」

パソコンに接続されているデジタルカメラに
保存されている画像ファイルを開きます。
ファイルメニューのデジタルカメラから入力と
同じ働きをします。



「ファイル一覧」

保存されている画像ファイルをサムネイルで確認して
開きます。
ファイルメニューのファイル一覧と同じ働きをします。



「元に戻す」

直前に行った編集作業を取り消して、元の状態に戻します。
編集メニューの元に戻すと同じ働きをします。



「コピー」

画像全体、または領域内の画像をコピーします
編集メニューのコピーと同じ働きをします。



「素材フォルダ」

素材が保存されているフォルダを開いて
画像に貼り付ける素材を選択します。
編集メニューの素材フォルダと同じ働きをします。



「ズームアウト」

画像を1段階縮小して表示します。
表示メニューのズームアウトと同じ働きをします。



「開く」

保存されている画像ファイルを開きます。
ファイルメニューの開くと同じ働きをします。



「保存」

作成した画像を保存します。
ファイルメニューの保存と同じ働きをします。



「印刷」

編集した画像を印刷します。
ファイルメニューの印刷と同じ働きをします。



「やりなおす」

元に戻すで取り消した作業をやりなおします。
編集メニューのやりなおすと同じ働きをします。



「貼り付け」

コピーされた画像を貼り付けます。
編集メニューの貼り付けと同じ働きをします。



「ズームイン」

画像を1段階拡大して表示します。
表示メニューのズームインと同じ働きをします。

2

機能タブ

[暗室]、[修正]、[効果]、[ペイント]の各タブをクリックで切り替えます。
現在選択されているタブは黒く表示されます。



暗室

写真を現像する暗室で行う覆い焼きや焼きこ込み、色温度などの調整を行います。

修正

色調補正やフォーカス、レンズ補正などを使って、画像の修正を行います。

効果

色鉛筆、ぼかし、素焼きなどのエフェクト、画像の合成、3D効果を使って画像に効果を付けます。

ペイント

ブラシを使って画像の上に自由に描画することができます。

ブラシを使って、画像の一部をぼかしたり、こすったりすることもできます。

3

機能メニュー

機能タブで選択したタブで使用できるツールボタンを表示します。

全タブ共通



クリックした位置にある一番上のレイヤーを選択状態にします。



画像が編集ウィンドウからはみ出している場合にドラッグで自由にスクロールして表示させることができます。

「暗室」タブ



画像を明るくして、露出不足の効果を適用します。



画像を暗くして、露出過多の効果を適用します。



画像の色温度を調節します。
色温度が高いと青っぽく、低いと赤っぽい画像になります。



ネガ反転やソフトフォーカスなどのカメラ効果を画像に適用します。



画像を部分的にカットしてトリミングをします。

画面・各部の説明

[暗室]、[修正]、[効果]タブ共通



「領域-[長方形]」

長方形の領域を作成します。



「領域-[円グラデーション]」

円形の領域を作成します。
作成した円の中心から領域の外側に向かって効果がだんだん薄くなるグラデーション効果を出すことができます。



「領域-[マジックwand]」

画像の境界線に吸着するような領域を作成します。



「領域-[円]」

円形の領域を作成します。



「領域-[多角形]」

多角形の領域を作成します。



「領域-[ベジエ曲線]」

自由な曲線で領域を作成します。

[修正]タブ



「クローンブラシ」

画像の指定した部分をコピーして描画することができます。



「レンズ補正」

カメラのレンズによる画像の歪みを補正します。



「回転」

画像を回転して新しい画像として作成します。



「変形補正」

画像を変形させて補正します。



AUTO 「自動色補正」

画像に合わせて、最適な色補正を自動で行います。



「色調補正」

画像の明るさ、軟調/硬調、鮮やかさ、カラーバランスを調整して画像の色調を補正します。



「フォーカス」

画像の輪郭部分を強調してシャープな画像にしたり、輪郭線をぼかしてソフトな画像にしたりすることができます。



「トーンカーブ」

画像の色や明度、彩度、色相をトーンカーブと呼ばれる補正曲線を使って補正します。



「赤目補正」

夜間や室内で撮影した場合などの撮影で、赤目になった写真を修整します。

[効果]タブ



「エフェクト」

画像にぼかしや水彩画などのエフェクト加工ができます。



「3D効果」

選択したレイヤー画像全体をを3D化(立体化)します。



「画像合成」

2枚の画像を使用して合成を行います。

画面・各部の説明

[ペイント]タブ



「ブラシ」

フリーハンドで自由に描画します。



「ぼかし」

ブラシで描画した部分をぼかします。



「ケシゴム」

画像上でドラッグした部分の画像を消去します。



「直線」

直線を描画します。



「円」

円形の輪郭線を描画します。



「平行四辺形」

平行四辺形の輪郭線を描画します。



「塗りつぶし-[円]」

塗りつぶされた円形を描画します。



「塗りつぶし-[平行四辺形]」

塗りつぶされた平行四辺形を描画します。



「レインボー」

虹色に色が変化するブラシで自由に描画します。



「こする」

ブラシで描画した部分に指でこすったような効果を加えます。



「スポイト」

画像上でクリックした部分の色を描画色に指定します。



「長方形」

長方形の輪郭線を描画します。



「多角形」

多角形の輪郭線を描画します。



「塗りつぶし-[長方形]」

塗りつぶされた長方形を描画します。



「塗りつぶし-[多角形]」

塗りつぶされた多角形を描画します。



「文字」

画像に文字を貼り付けます。

4

編集ウィンドウ

編集を行う画像を表示します。

編集ウィンドウに表示された画像は自由に加工することができます。

編集ウィンドウのタイトルバーには画像のファイル名、表示倍率が表示されます。

5

ステータスバー

x= 6, y= 571

75.0

[[名前なし] [1024x768ピクセル]

表示している画像のファイル名や大きさ、選択している領域の座標や大きさを表示します。

作業の状況によって、表示される項目が変わります。

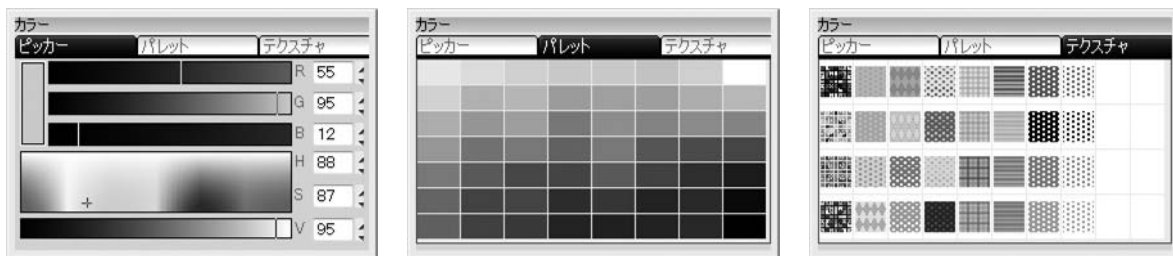
ステータスバーには、画像上のマウスポインタの座標と画像の表示倍率を表示することができます。

6 オプションバー



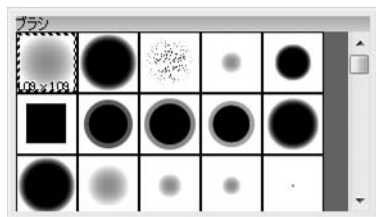
現在選択されている描画色や不透明度、領域ぼかし、領域反転といった操作の補助的な役割を果たす機能が搭載されているパネルです。

7 カラーパネル



[ペイント]タブで描画を行う際に使用する色を選択するためのパネルです。
[ピッカー]、[パレット]、[テクスチャ]の各タブはクリックで切り替えられます。
画面の詳しい説明は114ページをご覧ください。

8 ブラシパネル



[ペイント]タブで描画を行う場合や、エフェクトやカメラ効果などでペンモードを使用する場合などの
ブラシの大きさと形状を選択するパネルです。
[ペイント]タブで、直線や長方形といった線描画ツールを選択した場合には、
線の太さと、形状を選択できるようになります。
画面の詳しい説明は117ページをご覧ください。

9

レイヤーパネル



表示している画像のレイヤー情報を表示します。

レイヤーパネルの表示モードは、選択レイヤーとレイヤー一覧のタブをクリックして、切り替えることができます。

選択レイヤーでは、編集中のレイヤーのプレビューだけを表示し、

レイヤー一覧では、レイヤー構造を確認しながら操作を行うことができます。

10

Exif情報パネル



画像と一緒に保存されている、Exif (イグジフ) 情報と呼ばれる、撮影日時やデジタルカメラの機種名、

撮影時のシャッタースピードや絞り値などの情報を表示します。

デジタルカメラで撮影した画像のほとんどはExif情報が保存されています。

ファイル一覧画面



1 メニューバー・ツールバー

ファイル(F)

別のフォルダへコピー(C)...	
名前の変更(R)...	
削除(D)...	Delete
一括変換(T)...	
インデックス印刷(I)...	
終了(X)	Alt+F4

ファイルメニュー

別のフォルダへコピー

選択した画像を別のフォルダへコピーします。

名前の変更

選択した画像の名前を変更します。

削除

選択した画像を削除します。

一括変換

選択した画像の形式やサイズを一括して変換します。

インデックス印刷

選択した画像のサムネイルを1枚の用紙に印刷します。

終了

ファイル一覧画面を閉じます。

編集(E)

すべて選択(A)	Ctrl+A
選択解除(R)	Ctrl+L
選択の切り替え(I)	

編集メニュー

すべて選択

現在表示されている画像をすべて選択します。

選択解除

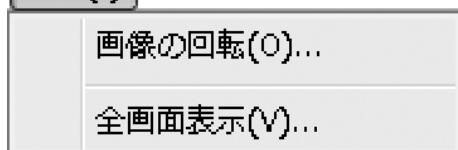
選択されている画像の選択を解除します。

選択の切り替え

選択されている画像の選択を解除し、
選択されていない画像を選択します。

画面・各部の説明

画像(I)



画像メニュー

画像の回転

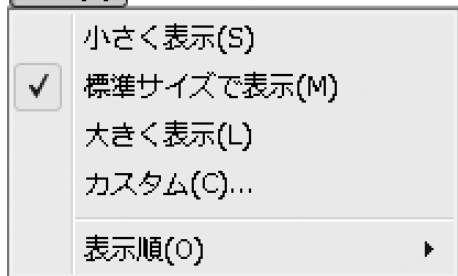
選択した画像を回転させます。

全画面表示

選択した画像を全画面で表示します。

複数の画像を選択した場合、1画面に1枚ずつ表示されます。

表示(V)



表示メニュー

小さく表示

画像のサムネイルを小さく表示します。

標準サイズで表示

画像のサムネイルを標準サイズで表示します。

大きく表示

画像のサムネイルを大きく表示します。

カスタム

画像のサムネイルの大きさをピクセルで指定して表示します。

表示順

画像を表示する順番を選択します。

ファイル名順

ファイル名の順番で表示します。

ファイル名逆順

ファイル名の順番の逆に表示します。

日付順

日付の古い順に表示します。

日付逆順

日付の新しい順に表示します。

ファイルサイズ順

ファイルサイズの小さい順に表示します。

ファイルサイズ逆順

ファイルサイズの大きい順に表示します。



選択した画像を全画面で表示します。
画像メニューの全画面表示と同じ働きをします。



画像のサムネイルを小さく表示します。
表示メニューの小さく表示と同じ働きをします。



画像のサムネイルを標準サイズで表示します。
表示メニューの標準サイズで表示と同じ働きをします。

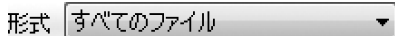


画像のサムネイルを大きく表示します。
表示メニューの大きく表示と同じ働きをします。

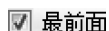


現在選択しているフォルダを表示します。

▼をクリックするとこれまで表示したフォルダの履歴が表示され、選択することができます。



▼をクリックして、表示する画像ファイルの形式を選択します。



チェックするとファイル一覧画面を常に最前面に表示します。

2 フォルダー一覧

フォルダーの一覧を表示します。
画像の一覧を表示したいフォルダーを選択することができます。

3 ステータスバー

ファイル数[0] | 選択数[0] | [Photo Changer ファイル一覧]

現在表示している画像ファイルの数や、選択している画像ファイルの数を表示します。

4 ファイル一覧

現在選択されているフォルダの画像ファイルをサムネイルで表示します。
サムネイルをダブルクリックすると「Photo Changer」で開くことができます。

画像を開く

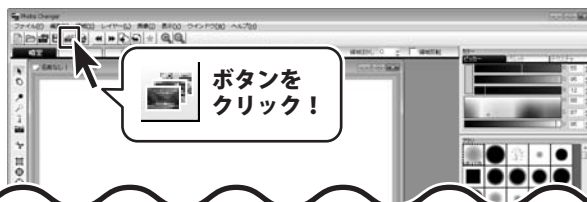
ファイル一覧から画像を開く

ファイル一覧を使用すると、画像をサムネイルで確認しながら画像ファイルを開くことができます。

1 ファイル一覧画面を表示します



「ファイル一覧」ボタンをクリックして、ファイル一覧画面を表示します。



2 開きたい画像を選択します

ファイル一覧画面が表示されましたら、フォルダー一覧から画像が保存されているフォルダーを選択し、開きたい画像のサムネイルをダブルクリックします。



画像が表示されました



画像を開く

ファイルを指定して開く

1 ファイルを開く画面を表示します



「開く」ボタンをクリックして、
ファイルを開く画面を表示します。



2 開きたい画像を選択します

ファイルを開く画面が表示されましたら、
画像が保存されているフォルダーを選択し、
開きたい画像を選択して
開くボタンをクリックします。



画像が表示されました



画像を開く

クリップボードから開く

「Photo Changer」だけではなく、他のアプリケーションでコピーした画像データを編集ウィンドウに表示することが出来ます。

1 クリップボードに画像をコピーします

開きたい画像をコピーします。

※例では「Photo Changer」でコピーをしています
(コピーのしかたは65ページ参照)
ペイントなど、他の画像ソフトでコピーした画像も開くことができます。
他の画像ソフトでのコピーのしかたはそれぞれのマニュアルをご確認ください。

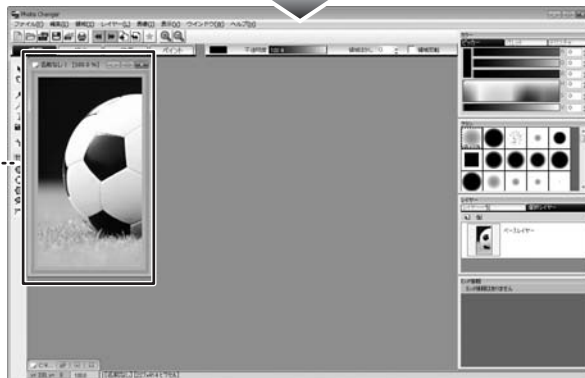


2 クリップボードの画像を開きます

画像がコピーできたら
ファイルメニューのクリップボードから開く
を選択します。



画像が表示されました



画像を取り込む

デジタルカメラから取り込む

「Photo Changer」ではデジタルカメラとパソコンをUSBケーブルで接続して、デジタルカメラのメモリに保存されている画像を取り込むことができます。

1 デジタルカメラを接続します

デジタルカメラとパソコンをUSBケーブルで接続し、デジタルカメラの電源を入れます。

※ご利用のデジタルカメラがパソコンと直接接続できるかどうか、パソコンとの接続方法や撮影した画像が保存されているフォルダーについては、デジタルカメラのマニュアルをご覧ください。

2 デジタルカメラから入力画面を表示します

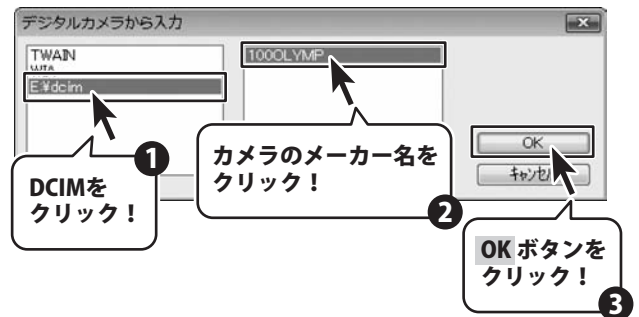


「デジタルカメラから入力」ボタンをクリックして、デジタルカメラから入力画面を表示します。



3 取り込むデジタルカメラを選択します。

デジタルカメラから入力画面が表示されましたら、DCIMをクリックして選択し、取り込むデジタルカメラのメーカー名を選択して、OKボタンをクリックします。



画像を取り込む

3 取り込む画像を選択します

デジタルカメラの画像がサムネイルで表示されましたら、取り込む画像をクリックして選択し、OK ボタンをクリックします。



画像を取り込む

スキャナから取り込む

「Photo Changer」ではイメージスキャナなどのTWAIN機器から画像を取り込むことができます。TWAIN機器から画像を取り込む場合、TWAIN機器専用のユーティリティを使用して画像を取り込みます。事前にTWAIN機器に付属している専用ユーティリティソフトをインストールして、TWAIN機器をパソコンに接続してください。

1 デジタルカメラから入力画面を表示します

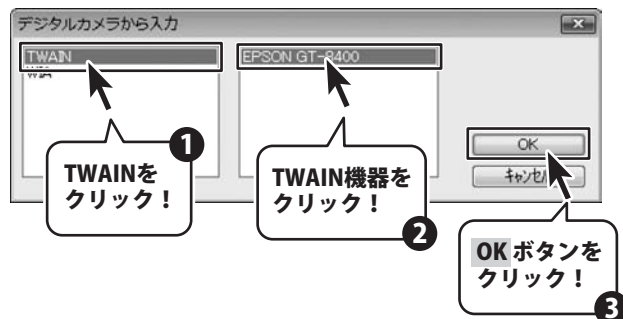


「デジタルカメラから入力」ボタンをクリックして、デジタルカメラから入力画面を表示します。



2 取り込みに使用するTWAIN機器を選択します

デジタルカメラから入力画面が表示されましたら、TWAINをクリックして選択します。TWAINを選択しますと、インストールされているTWAIN機器が表示されますので、取り込みに使用するTWAIN機器を選択して、OKボタンをクリックします。



3 ユーティリティを使用して画像を取り込みます

取り込みに使用するTWAIN機器を選択しますと、TWAIN機器のユーティリティが起動しますので、ユーティリティを使用して画像を取り込みます。

※画面はユーティリティ画面の一例です。ユーティリティの操作方法は、TWAIN機器のマニュアルやヘルプをご覧ください。



新しい画像を作る

1 新規作成画面を表示します



「新規作成」ボタンをクリックして新規作成画面を表示します。



2 新しい画像を作成します

新規作成画面が表示されましたら、幅、高さ、解像度の欄に数値を入力しOKボタンをクリックしますと、指定したサイズで、新しい白紙の画像が作成されます。

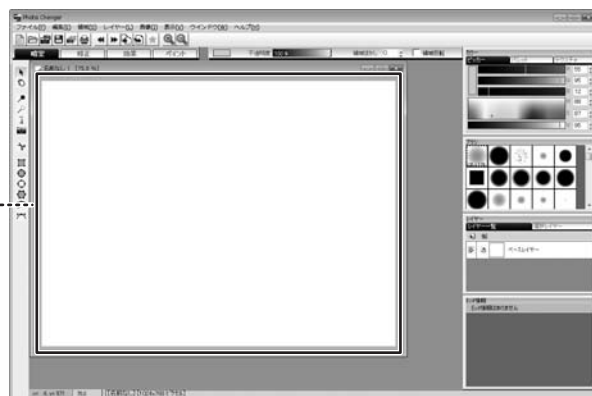


OKボタンをクリック!

2



白紙の画像が作成されました



画像の表示倍率を変更する

画像の表示倍率を変更する

1 表示倍率の一覧を表示します

ステータスバーの表示倍率欄をクリックします。



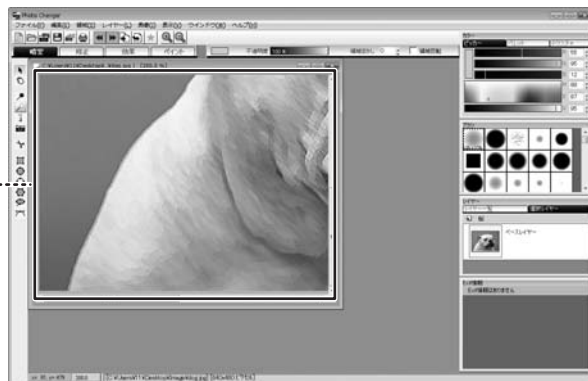
2 表示倍率を選択します

表示倍率の一覧が表示されましたら、一覧から表示させたい倍率を選択します。

※表示倍率を変更しても画像のサイズは変更されません。



表示倍率が変わりました



画像の表示倍率を変更する

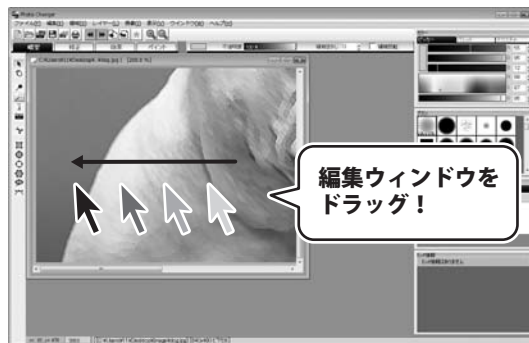


編集ウィンドウからはみ出した部分を表示する場合

手のひらツールを使って画面をスクロールさせることができます。

「手のひら」ボタンをクリックして、
編集ウィンドウ内をドラッグしますと、
ドラッグした方向に画像がスクロールされます。

また、編集ウィンドウのスクロールバーをつかって
スクロールさせることもできます。



画像がスクロールされました



画像の表示倍率を変更する

編集ウィンドウのサイズを調整する

ズームインツールやズームアウトツールなどで、画像のサイズと編集ウィンドウのサイズが合わなくなってしまった場合に編集ウィンドウのサイズを調整することができます。

1 編集ウィンドウのサイズを調整します

ウィンドウメニューから
ウィンドウサイズの調整を選択します。



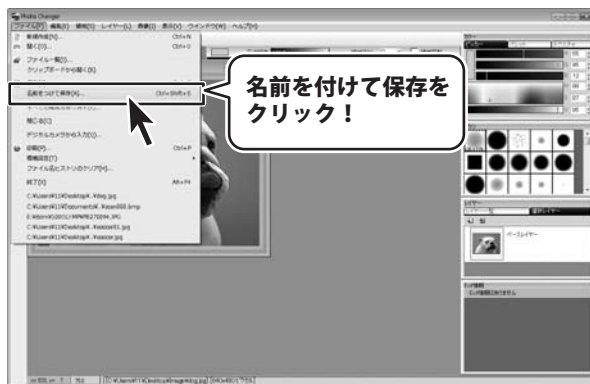
編集ウィンドウが調整されました

編集した画像を保存する

ファイルに名前を付けて保存する

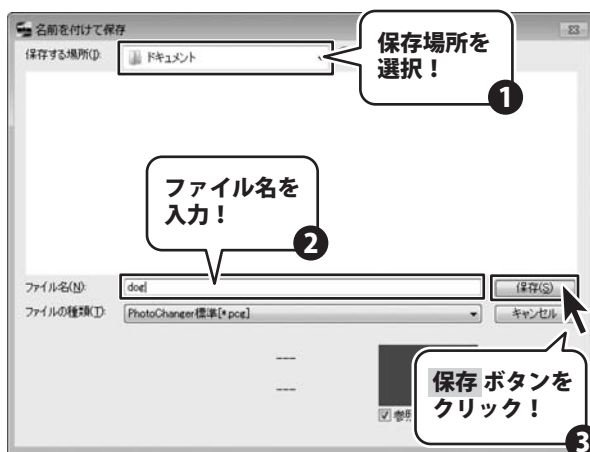
1 名前を付けて保存画面を表示します

ファイルメニューの名前を付けて保存を選択します。



2 編集した画像を保存します

名前を付けて保存画面が表示されましたら、ファイルの保存先を選択し、ファイル名を入力してOKボタンをクリックします。



編集した画像を保存する

上書き保存する

1 編集した画像を上書き保存します



「保存」ボタンをクリックして、上書き保存をします。

※新しく作成した画像や、イメージスキャナから取り込んだ画像を



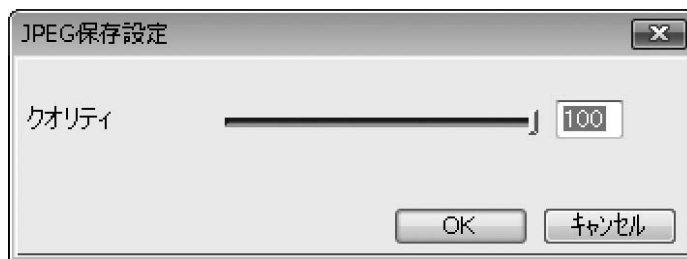
「保存」ボタンから保存する際には、名前をつけて保存画面が表示されます。詳しい操作は32ページをご覧ください。



memo

設定が必要なファイル形式で保存した場合

保存するときにJPEGやPNGなどの設定が必要なファイル形式を選択した場合には、保存ボタンをクリックした後に、設定のダイアログボックスが表示されますので、各ダイアログボックスのメッセージにしたがって、操作を行ってください。



例：JPEG保存設定画面

印刷する

編集した画像を印刷する

1 印刷画面を表示します



「印刷」ボタンをクリックして、印刷画面を表示します。



2 プリンタの設定画面を表示します

印刷画面が表示されましたら、印刷設定ボタンをクリックして、プリンタの設定画面を表示します。



3 使用するプリンタの設定をします

プリンタの設定画面が表示されましたら、印刷に使用するプリンターや用紙のサイズ、印刷の向きを設定し、OKボタンをクリックします。



印刷する

4 印刷するサイズを設定して、印刷します

プリンタの設定画面が閉じましたら、印刷画面で印刷するサイズを設定します。

用紙いっぱいに調整 ボタンをクリックすると画像を用紙の大きさに合わせて印刷することができます。

中心に調整 ボタンをクリックすると、用紙の中心に印刷するように画像を配置します。

印刷のサイズは、幅、高さ、左余白、上余白の各欄に数値を入力して設定することも出来ます。

また、印刷プレビューの用紙の上でドラッグすると、ドラッグした大きさと、ドラッグした位置に画像を配置することが出来ます。

印刷するサイズが設定できたら、**印刷** ボタンをクリックすると、印刷が始まります。



印刷 ボタンをクリック！

印刷する

編集した画像をシール用紙に印刷する

編集した画像を市販のシール用紙に印刷することができます。

1 印刷画面を表示します



「印刷」ボタンをクリックして、印刷画面を表示します。



2 シールプリントタブを表示します

印刷画面が表示されたら、シールプリントタブをクリックしてシールプリントタブを表示します。



3 印刷に使用するシール用紙を選択して、印刷します

シールプリントタブが表示されましたら、シール用紙一覧から、印刷に使用するシール用紙を選択して、「印刷」ボタンをクリックしますと、印刷が始まります。



印刷する

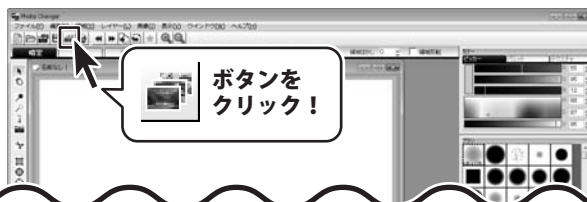
インデックス印刷する

ファイル一覧から、画像のサムネイルを一枚の用紙に印刷することができます。

1 ファイル一覧画面を表示します



「ファイル一覧」ボタンをクリックして、ファイル一覧画面を表示します。



2 印刷する画像を選択します

ファイル一覧画面が表示されましたら印刷する画像のサムネイルをクリックして選択します。
複数の画像を選択する場合は、**Ctrl** キーを押しながらクリックします。



3 インデックス印刷画面を表示します

画像が選択できましたら、ファイルメニューからインデックス印刷をクリックして選択します。



4 インデックス印刷の設定をし、印刷します

インデックス印刷画面が表示されましたら、インデックス印刷の設定をします。

1枚の用紙に横方向に何個のサムネイルを並べるかを横の欄で、縦方向に何個のサムネイルを並べるかを縦の欄で設定します。

またサムネイルの下に印刷する項目を選択することも出来ます。

高速印刷の設定は印刷の品質と印刷の速さを設定するものです。

チェックボックスのチェックを外すと印刷の速さは遅くなりますが、印刷の品質が上がります。

設定ができましたら、**OK** ボタンをクリックしますと印刷が始まります。



並べる個数、印刷する項目、速度を設定！

OK ボタンをクリック！

画像の編集機能

画像を編集するときに便利な機能について説明しています。

レイヤーの設定と操作

レイヤーとは	40
レイヤーパネル画面	40~44
レイヤーオプション画面	45~48
レイヤーの重なり順を替える	49
レイヤーマスクを編集する	50~51
レイヤーの画像をクリアする	52
レイヤー画面をグラデーションで塗りつぶす	53~54

領域を操作する

領域とは	55
領域選択ツールの種類	55
長方形・円・円グラデーションの領域を選択する	56
多角形の領域を選択する	57
マジックワンドで領域を選択する	58
ベジエ曲線の領域を選択する	59~60
画面全体を領域として選択する	61
領域を移動する	62
領域を反転させる	62
領域をぼかす	63
領域を解除する	64
領域外の表示方法を変更する	64

画像を編集する

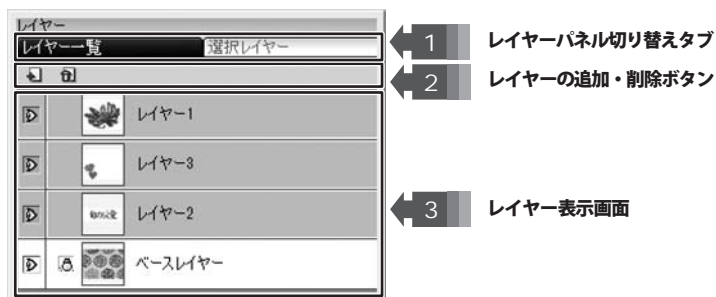
画像のコピー・貼り付け	65~68
画像を切り取る	69
画像をトリミングする	70
素材を貼り付ける	71~73
画像を複製する	74
不透明度を設定する	75~76
ヒストグラムで画像を補正する	77~79

レイヤーの設定と操作

レイヤーとは

「Photo Changer」で新しい画像を作成すると、「ベースレイヤー」として表示されます。レイヤー構造を持たない、JPEG や TIFF などを画像を開いた場合には、開いた画像が「ベースレイヤー」として表示されます。レイヤーは何枚もの透明なシートに、画像に描画したものを重ね合わせて1枚の画像を構成するものです。レイヤーは、外のレイヤーに影響を与えない・レイヤーの位置関係を簡単に入れ替えられる・不要になったレイヤーを削除できるなどの特徴があります。

レイヤーパネル画面



1 レイヤーパネル切り替えタブ

レイヤーパネルでレイヤーの管理を行っています。レイヤーパネルの表示には、[レイヤー一覧] と [選択レイヤー] の2つの表示モードがあります。タブを切り替えることで、表示画面を切り替えることができます。

レイヤーパネルの初期設定では、[選択レイヤー] 表示モードになっています。[レイヤー一覧] タブをクリックして、表示モードを切り替えます。

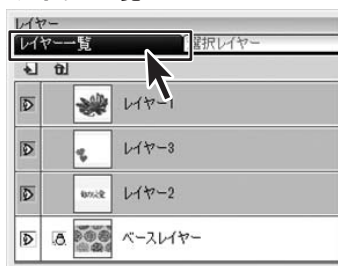
レイヤー一覧

編集ウィンドウに表示されている画像のレイヤーだけを表示します。
※現在、選択されているレイヤーは、白で表示され、[レイヤー構成表示] ボタンが表示されます。

選択レイヤー

現在、選択されているレイヤーだけを表示します。どのレイヤーを編集しているのかをひと目で判断できます。

レイヤー一覧



選択レイヤー



レイヤーの設定と操作

2 レイヤーの追加・削除ボタン



レイヤーの追加

クリックすると、新しいレイヤーが追加されます。



レイヤーの削除

クリックすると、選択されたレイヤーが削除されます。


レイヤーの追加

編集中の画像にレイヤーを追加するには、次のような操作方法があります。

- ベースレイヤーと同じサイズの新しいレイヤーを追加する。
- クリップボードにコピーした画像データを新しいレイヤーとして貼り付ける。
- 素材を新しいレイヤーとして貼り付ける。(※68ページを参照)
- 文字を新しいレイヤーとして貼り付ける。

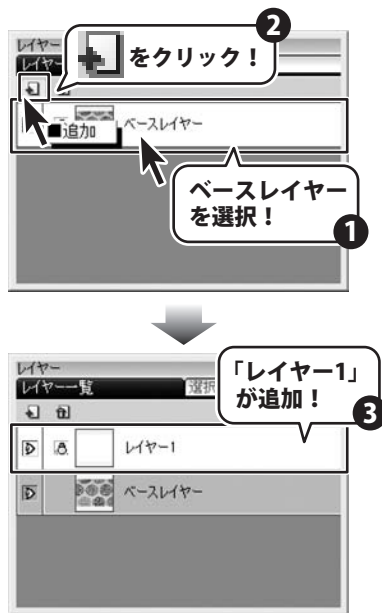
ここでは、編集中の画像にベースレイヤーと同じサイズのレイヤーを追加する方法を説明します。

レイヤーパネルの「レイヤー一覧」で、レイヤーを追加したい位置を決め、1つ下のレイヤーを選択状態にします。

「ベースレイヤー」の上に新しいレイヤーを追加する場合、「ベースレイヤー」を選択後、 「レイヤーの追加」ボタンをクリックします。

新しく「レイヤー1」が追加されました。

※追加したレイヤーは、「ベースレイヤー」と同じサイズで、透明なレイヤーとなります。




レイヤーの設定と操作

レイヤーの削除

不要となったレイヤーの削除を行います。
ベースレイヤーは削除することができません。

例) 「レイヤー1」を削除する場合

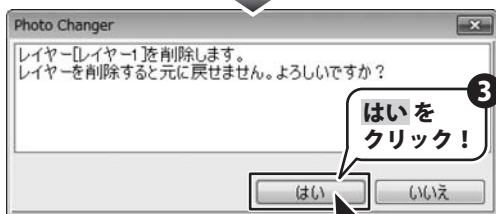
レイヤーパネルの「レイヤー一覧」で、
削除する「レイヤー1」をクリックで選択します。

 「レイヤーを削除」ボタンを
クリックします。

- ※[選択レイヤー]表示モードの時でも、
削除ボタンでレイヤーを削除することはできます。
- ※メニューバーの[レイヤー]から「削除」を
選択しても、同じ操作を行うことができます。



レイヤーの削除を実行する確認画面が
表示されますので、「はい」ボタンをクリック
します。



レイヤー一覧から「レイヤー1」が削除され
ました。



レイヤーの設定と操作

3 レイヤーの表示画面



レイヤーの表示画面内の様々なボタンの表示・非表示で画像表示画面の表示を切り替えることができます。



1 レイヤー表示ボタン

  クリックで、表示・非表示を切り替えられます。

2 レイヤー合成表示ボタン

 (黄色) ↔  (白)
ボタンをクリックで、
合成の表示・合成の非表示を切り替えます。



3 レイヤー画像


レイヤー内に配置されている画像を表示します。


4 レイヤー名

レイヤー名を表示します。
※レイヤーオプション画面で名前の変更ができます。
(45ページ参照。)

1 レイヤー表示ボタン

 ボタンをクリックすると、
 に表示が切り替わり、レイヤーが非表示になります。

もう一度クリックすると、 ボタンが表示されて、レイヤーが表示されます。

表示されているレイヤーには、 ボタンが表示されます。



「レイヤー1」の画像
が非表示に!



レイヤーの設定と操作

レイヤーオプション画面

レイヤーオプションでは、各レイヤーの表示濃度・レイヤー名・レイヤー位置を設定できます。また、レイヤー間の表示設定の行うことができます。



名前

レイヤーの名前を入力・設定します。
※全角で19文字まで入力できます。

表示

レイヤーの表示方法を設定します。
※表示しない/重なる/乗算/明るいほう/暗いほう/
明度/色相と彩度/ハイライト/差の絶対値/
オーバーレイ (※45~46ページを参照)

不透明度

レイヤーの透明度を0%~100%で設定します。
バーをドラッグで調節するか、数値入力で設定します。
(※47ページを参照)

座標

X値で横位置、Y値で縦位置を設定します。
基準点は画面の左上角になります。
(※48ページを参照)

OK

設定内容を確定させます。

キャンセル

設定をキャンセルします。

1 表示の設定

レイヤーパネルの「レイヤー一覧」で、レイヤー設定をしたいレイヤーの上で、右クリックします。

※メニューバーの「レイヤー」→「レイヤーオプション」を選択しても同じ操作ができます。

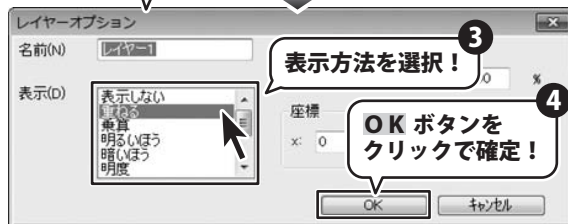
※「レイヤー選択ツール」ボタンで、画面上的レイヤーの上で右クリックして、「レイヤーオプション」を選択しても同じ操作ができます。



2 レイヤーオプション画面が表示!

レイヤーオプション画面が表示されます。選択したレイヤーを、ひとつ下のレイヤーに対して、どのように重ねて表示するかを選択します。

OK ボタンをクリックして確定させます。



レイヤーの設定と操作



レイヤーオプション「表示」の効果

ここでは、「ベースレイヤー」に「レイヤー1」を重ねて表示した時の効果を例に説明します。



表示しない

選択したレイヤーを非表示にします。



暗い方へ

2つのレイヤーの画像の色を比較して、暗い方で重ねて表示します。



ハイライト

2つのレイヤーの画像の色情報を加算して、ハイライトを当てたような状態を表示します。



重ねる

下のレイヤーに重ねて表示します。透明部分では下のレイヤーの画像が見え、画像がある部分では見えません。

※初期設定で選択されています。



明度

選択レイヤーの明度のみを使用。色相と彩度は、下のレイヤーの値を使用します。



差の絶対値

2つのレイヤーの画像の色情報を減算した値で表示します。



乗算

選択したレイヤーと下のレイヤーの画像の色情報を乗算した値で表示します。



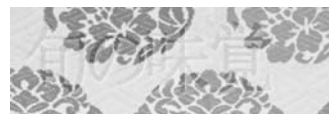
色相と彩度

選択レイヤーの色相と彩度のみ使用。明度は、下のレイヤーの値を使用します。



オーバーレイ

下のレイヤーの明暗を活かしたまま、選択レイヤーの色を重ねて表示します。



明るい方へ

2つのレイヤーの画像の色を比較して、明るい方で重ねて表示します。



レイヤーの設定と操作

2 不透明度の設定

レイヤーパネルの「レイヤー一覧」で、レイヤー設定をしたいレイヤーの上で、右クリックします。
ここでは、「レイヤー1」を設定します。



レイヤーオプション画面が表示されました。

レイヤーの画像を、どの程度透明にするかをバーをドラッグするか数値入力をして設定する。

※0%で完全な透明に、

100%で完全な不透明に表示されます。

OK ボタンをクリックして確定します。



memo

レイヤーオプション「不透明度」の効果

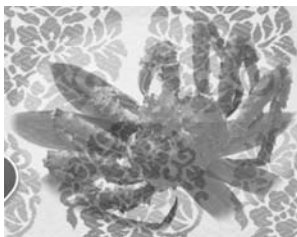
不透明度100%

下のレイヤーが見えない
完全な不透明状態。



不透明度50%

上のレイヤーが50%透明になり、
下のレイヤーは透けて見える状態。



不透明度0%

下のレイヤーが完全に見える状態。



レイヤーの設定と操作

2

座標の設定

レイヤーパネルの「レイヤー一覧」で、レイヤー設定をしたいレイヤーの上で、右クリックします。

ここでは、「レイヤー1」を設定します。

レイヤーオプション画面が表示されました。



2 レイヤーオプション画面が表示!



4 OK ボタンをクリックで確定!

レイヤーの位置を座標で指定できます。ベースレイヤーの左上端を

「X:0、Y:0」として、

レイヤーの左端までの距離を設定します。

※各レイヤーの中の画像の位置は、各セクションパネルの

「レイヤー選択ツールボタン」を選択して、画面上でレイヤーをドラッグして任意の位置に移動することもできます。

座標の位置を [X:20、Y:20] に移動すると、右図のようになります。

OK ボタンをクリックして確定します。



レイヤーの設定と操作

レイヤーの重なり順を替える

レイヤーの位置を入れ替えて、表示する順位を変更します。

レイヤーの表示位置は上にあるほど手前に表示され、下にあるほど奥に表示されます。

ベースレイヤーは固定されていますので、入れ替えることはできません。

4枚のレイヤーで構成されている画像の重なり順序を替えると、レイヤーの重なり順が変更されて、表示が変わります。

ここでは、[レイヤー1]と[レイヤー2]の配置順を交換したいので、[レイヤー1]を[レイヤー2]の上にドラッグで移動します。

[レイヤー1]は[レイヤー2]の上に配置され、画像の表示が変更されました。レイヤー分けをして作業を進めると後で修正がしやすくなります。

※レイヤー情報を維持して保存したい時は、必ず「*.pcg」の形式で保存してください。

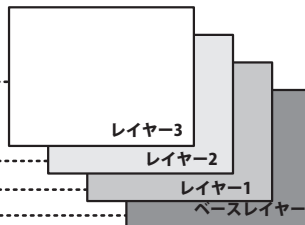


レイヤー画面



[レイヤー1]を上にドラッグ!

レイヤー構造

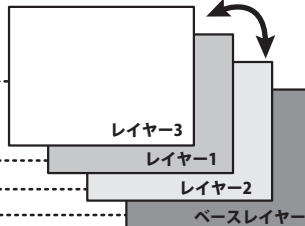


レイヤー画面



[レイヤー1]が上に配置!

レイヤー構造



レイヤーの設定と操作

レイヤーマスクを編集する

レイヤーマスクとは、レイヤーの画像を消去せずに、表示のみを抑制する機能です。「切り取り」や「ペイント」の「ケシゴム」を使用すると、画像を消去してしまいますが、レイヤーマスクの場合には、画像自体は消去せずに効果を加えることができ、後から表示部分の変更を行うこともできます。※この機能は、「ベースレイヤー」1枚だけのファイルの場合は「ベースレイヤー」を加工することができます。

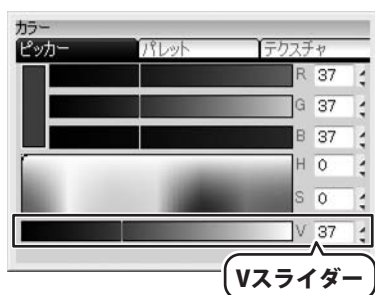
1 レイヤーマスク編集モードに切り替える

編集するレイヤー「レイヤー2」を選択します。次に、メニューバー→「画像」の「レイヤーマスク編集」をクリックして、チェックを入れます。

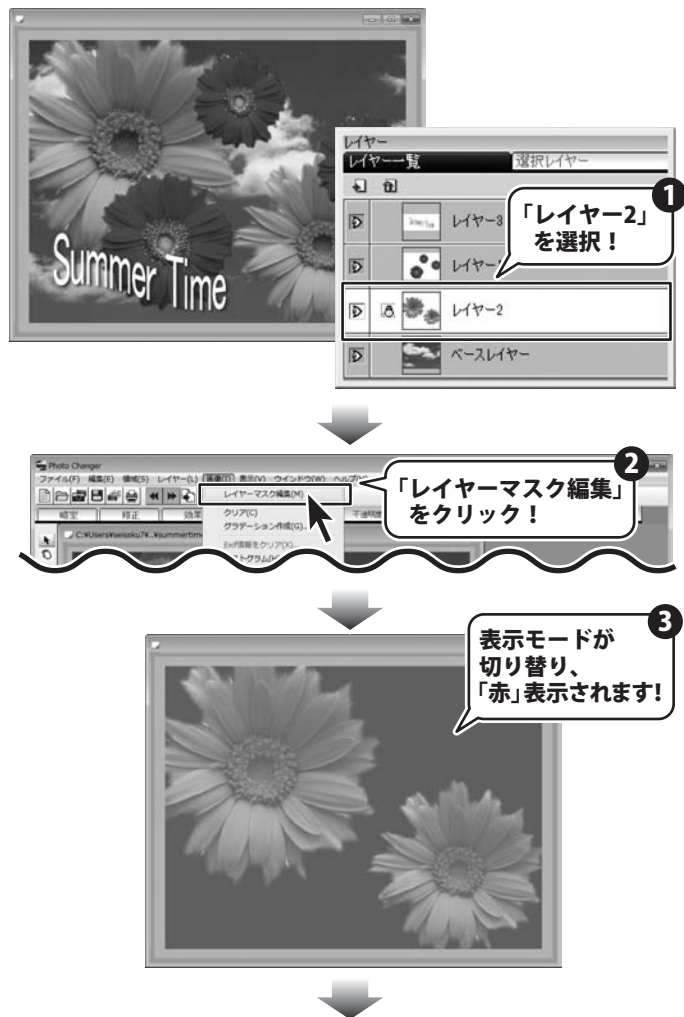
レイヤーマスク編集モードに切り替わります。※レイヤーマスク編集モードでは、表示抑制しない部分は、「赤」で表示されます。

レイヤーマスクでは、「赤」表示されていない制御部分以外の部分を、部分的に薄く表示させることができます。

画像表示の濃淡を設定するのが、カラーパネルの「ピッカー」の「Vスライダー」です。



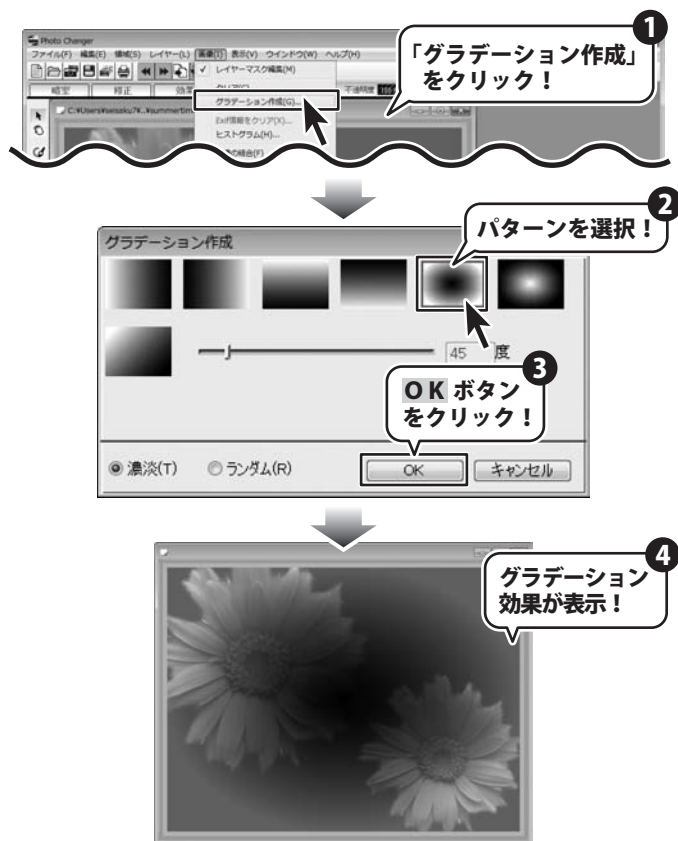
V値が0%だと表示制御はされません。逆に100%（黒）で濃した部分は表示抑制され、何も表示されません。100%（黒）に近い色で塗りつぶした程、制御がかかります。「Vスライダー」はバー、又は数値入力で抑制ボリュームを調節します。



レイヤーの設定と操作

2 レイヤーマスクにグラデーション抑制をかける

ここでは、グラデーション機能を用いて、画像の表示に緩やかに表示抑制の強弱をつけます。
メニューバー→「画像」→
「グラデーション作成」を選択します。
グラデーション作成画面が表示されますので、
グラデーションパターンをクリックで選択して
OK ボタンをクリックします。
画面にグラデーション効果が表示されました。



3 レイヤーマスクを確定させる

再び、メニューバー→「画面」の「レイヤーマスク編集」をクリックでチェックを外し、レイヤーマスクを解除します。

元の編集画面に戻り、「レイヤー2」にグラデーションの表示抑制の効果が効いたレイヤーマスクが、かかりました。

※「レイヤーマスク編集」で設定した表示抑制を元の状態に戻す場合は、メニューバー→「画像」→「クリア」をクリックします。



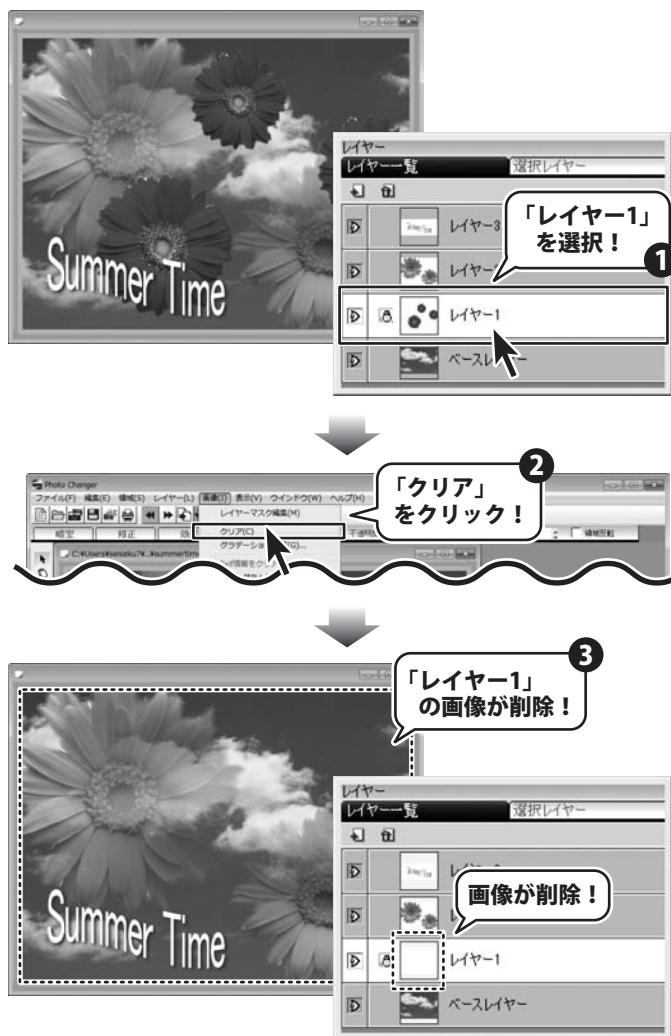
レイヤーの設定と操作

レイヤーの画像をクリアする

選択中のレイヤーの画像を削除する機能です。実行するとレイヤーは、透明「白」になります。
レイヤー削除ができない「ベースレイヤー」にもレイヤー上の画像の削除は可能です。
又、「レイヤーマスク編集」を選択して編集している場合には、設定した「レイヤーマスク」を消去します。

画像を消去するレイヤーを選択した状態で、
メニューバー「画像」→「クリア」を
クリックします。

選択したレイヤー上の画像が消去されました。
※間違えて画像をクリアしてしまった時は、
メニューバー「画像」→「元に戻す」を
クリックするか、ツールバーの
◀ 「戻る」ボタンをクリックして下さい。



レイヤーの設定と操作

レイヤー画面をグラデーションで塗りつぶす

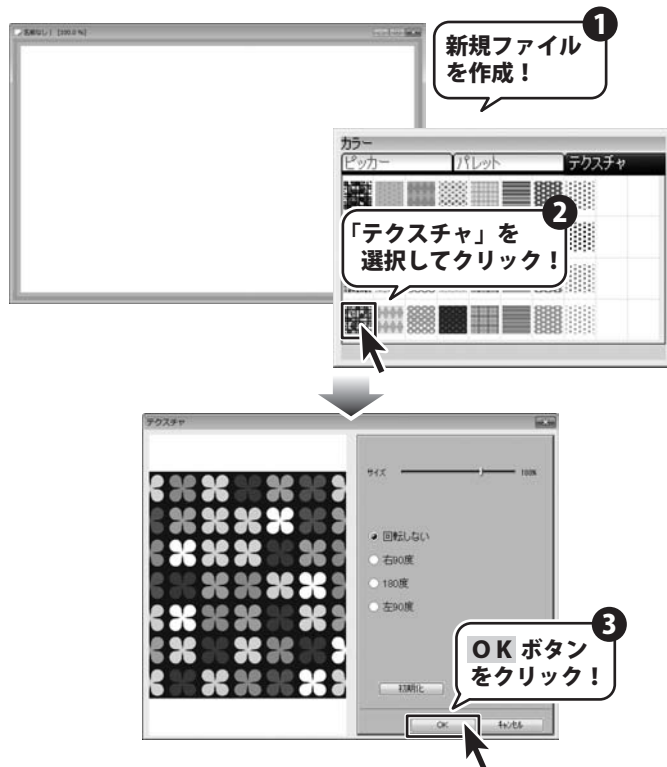
選択中のレイヤーに、カラーパネルで選択した描画色の濃淡で、グラデーションを作成して、レイヤー全体をグラデーションで塗りつぶします。

1 新規ファイルを作成する

まず、任意のサイズの新規ファイルを作成します。

カラーパネルで、グラデーションをかける描画色を選択します。
ここでは、[テクスチャ] からテクスチャを選択してクリックします。
(※115ページを参照。)

テクスチャ画面が表示されますので、確認して、OK ボタンをクリックします。

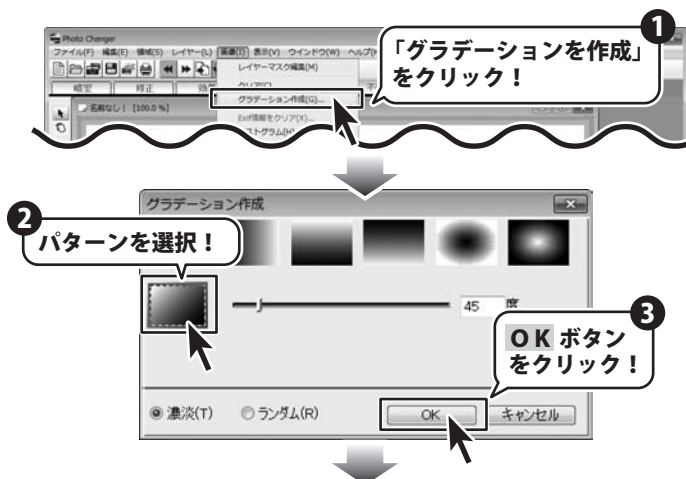


2 グラデーションを選択する

メニューバー「グラデーション作成」を選択します。

グラデーション作成画面が表示されます。

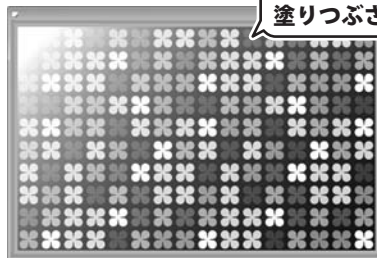
ここでは、角度指定のできる斜めグラデーションで「45度」に設定して、「濃淡」にチェックを入れて、OK ボタンをクリックします。



レイヤーの設定と操作

レイヤー全面が、選択したテクスチャのグラデーションで塗りつぶされました。
※グラデーションのパターンは、黒い部分が、完全表示され、白い部分が描画されません。

1
グラデーションのテクスチャで塗りつぶされました！

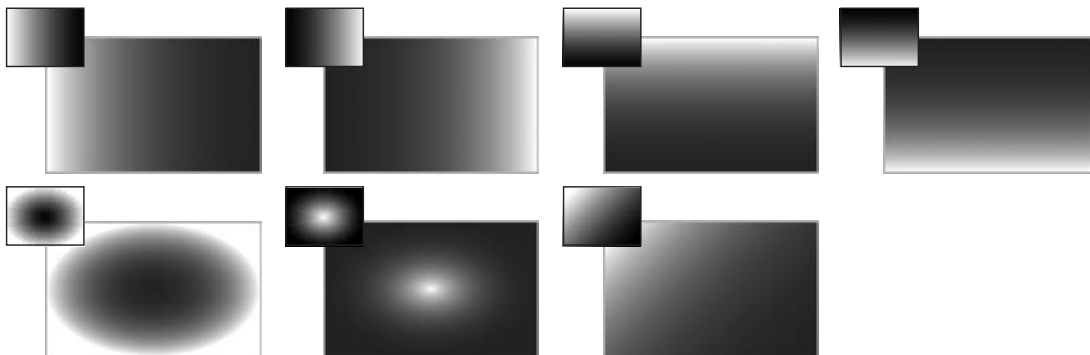


memo

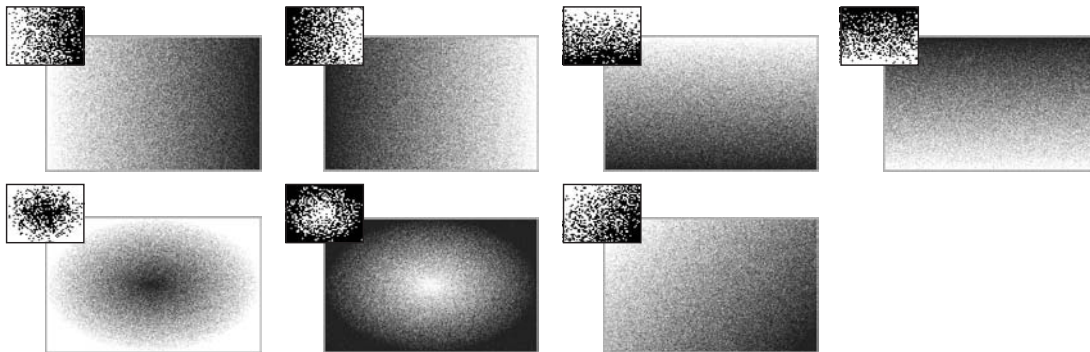


「グラデーション」のパターン

● 濃淡(T) なめらかなグラデーション描画です。



● ランダム(R) 粗いグラデーション描画です。



領域を操作する

領域とは

画像に領域を指定することで、部分的に画像の編集を行うことができます。

画像の特定の部分だけに効果をかけたり、修正を行ったりする場合には、領域選択ツールを使って選択した領域だけに以下の操作を行うことができます。

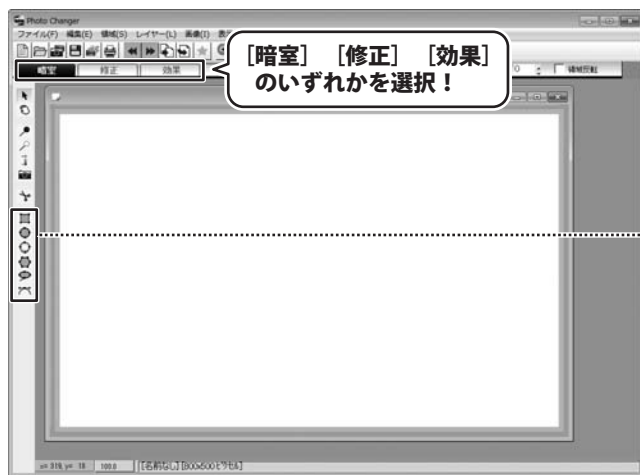
- 選択した領域をトリミング（切り出す）する。（※70ページを参照）
- 選択した領域範囲に効果や修正を適用する。（※81ページ～、87ページ～、97ページ～を参照）
- 選択した領域内の画像を他の画像に合成する。（※102ページを参照）
- 選択した領域内の画像をクリップボードにコピーする、（※65ページを参照）
- 選択した領域内の画像を切り取る。（※69ページを参照）

領域選択ツールの種類

領域選択ツールは、「暗室」 [修正] [効果] のタブに共通するツールです。

どのセクションの領域選択ツールを選択しても同じ操作を行うことができます。

※領域選択ツールには6通りの選択方法があります。用途や目的に合わせて使い分けてください。



- 長方形ツール
- 円ツール
- 円グラデーションツール
- 多角形ツール
- マジックワンドツール
- ベジエ曲線ツール

領域を操作する

長方形・円・円グラデーションの領域を選択する

長方形・円・円グラデーションの領域を選択します。

どの領域も操作方法は同じですので、ここでは長方形の領域を選択する方法を説明します。

ここでは、任意のサイズの画面に[ペイント]の
■ 「塗りつぶし- [長方形]」 ボタンを
選択して、カラーパネルの任意の「テクスチャ」で、
画面全体を塗りつぶします。

※ [ペイント]については、104ページ~を参照。
※領域外の表示は「暗く」を選択。

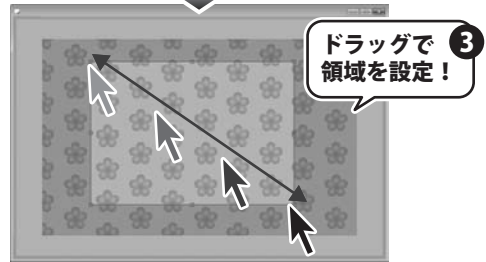
■ 「領域- [長方形]」 ボタンを選択します。
※円の領域を選択する場合には、
● 「領域- [円]」 ボタンを、
● 「領域- [円グラデーション]」 ボタン
を選択します。

画面上で、選択したい領域を左上から
右下に向かって斜め下方向にドラッグし、
領域を設定します。

マウスボタンを放した位置を終点にして、
領域が選択されます。

※選択した領域の外枠線に表示されている
ポイント (□) をドラッグすることで、
領域を作成した後でも、大きさの変更が
できます。

※Shiftキーを押しながらドラッグすると、
正方形 (正円) の領域を選択できます。

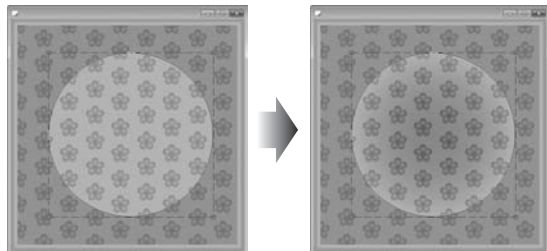


「円グラデーション」の効果

「円グラデーション」は領域を選択した状態では、「円」と同じですが、効果かけた場合に、
円の中心から猟奇の外側に向かって、効果がだんだんと薄くなるグラデーション効果を出すことができます。

「円グラデーション」で正円の領域を選択して、
■ [暗室]の「カメラ効果」ボタンで、
「ネガ反転」をかけると、右のような効果
出すことができます。

(※「カメラ効果」については、84ページを参照。)



領域を操作する

多角形の領域を選択する

多角形の領域を選択します。

 「領域-[多角形]」ボタンを選択します。

画面上で、領域の始点をクリックします。
※始点のポイント (□) が表示されます。

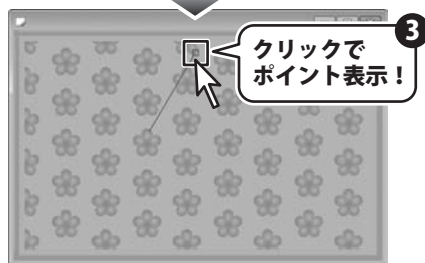
多角形の各頂点でクリックを繰り返しながら、
領域の範囲を作成していきます。

すべての頂点を設定したら、終点を右クリック
で設定して、領域を閉じます。

※各頂点には、ポイント (□) が表示されます。

□をドラッグで動かして、多角形の修正が
できます。

※□を右クリックすると、
ポップアップメニューが表示されます。
「追加」を選択すると□を追加し、
「削除」を選択すると、右クリックした
箇所の□が削除されます。




領域を操作する

マジックワンドで領域を選択する

ドラッグした位置から近くにある色の差を抽出して、境界線に吸着する様に領域線を引くことができます。

「領域-[多角形]」よりも複雑な多角形の領域を選択できます。

※マジックワンドは、色の境界を認識しますので、黒い背景に黒髪の人物を被写体に撮影された画像などの、色の差のあまりない画像では、境界線を認識することができない場合があります。

 「領域-[マジックワンド]」ボタンを選択します。

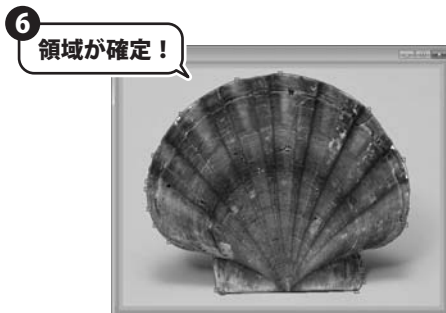
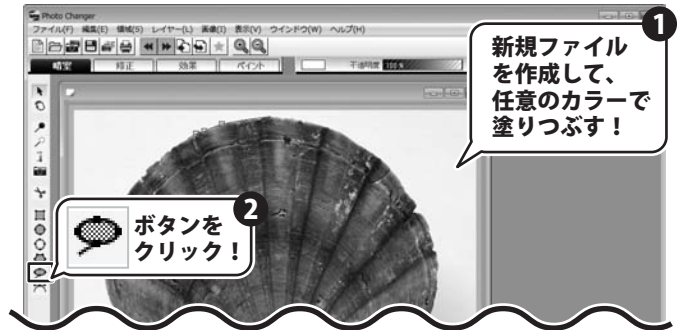
画面上で領域の始点をクリックして、マジックワンドで画像の周囲をなぞるようにマウスを動かし、クリックでポイント(□)を確定しながら、少しずつ領域線と□を、確定していきます。

※ここではドラッグではなく、マウスを動かしながらクリックを繰り返す事で領域を作成していきます。

選択したい画像の周囲が囲めたら、右クリックで終点を定めて領域を確定します。確定されると領域外が暗くなります。

※領域確定後も、□をドラッグで動かして、領域を修正できます。

※□を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。「追加」を選択すると□を追加、「削除」を選択すると、右クリックした箇所の□が削除されます。



領域を操作する


ベジエ曲線の領域を選択する

ベジエ曲線と呼ばれる始点と終点を滑らかに結ぶ曲線を描いて、領域を指定します。

ベジエ曲線を描くには、クリックでポイント（□）位置を決定した後、マウスボタンを放さずにドラッグします。

ポイント位置でドラッグせずに、クリックだけでポイント（□）を指定した場合には、ポイント間を結ぶ直線を描画します。

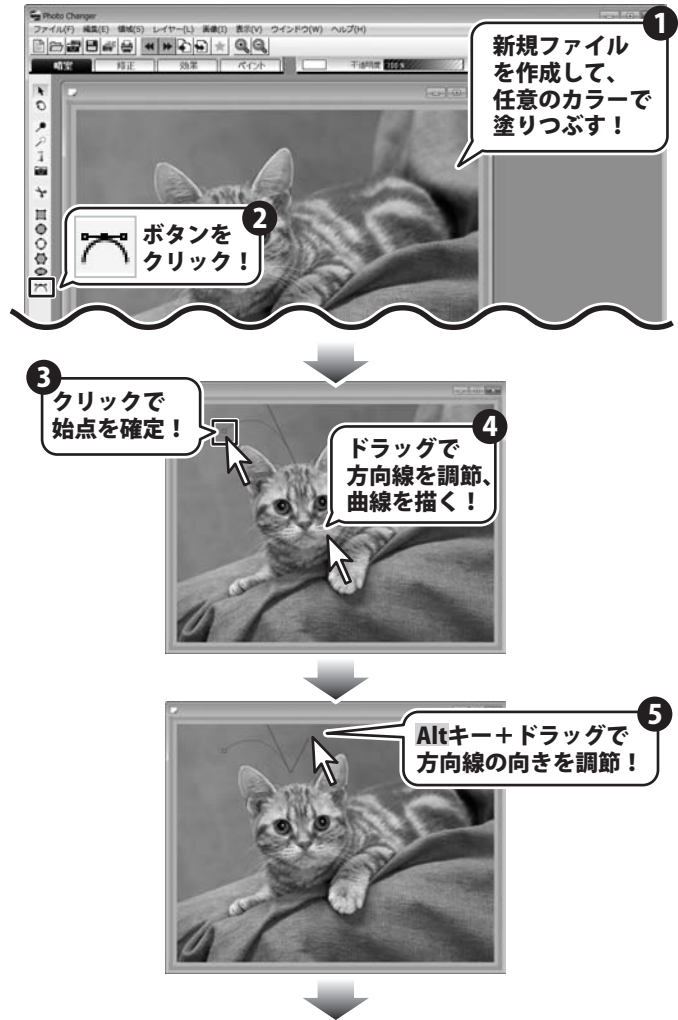
ここでは、曲線と直線を両方利用して、ハート型の領域を指定する手順を説明します。

 「領域 - [ベジエ曲線]」ボタンを選択します。

まず、始点をクリックします。
次のポイント（□）をクリックしたら、マウスボタンを放さずに、ドラッグで曲線を描き、方向線の長さの調節で曲線が決まったらマウスボタンを放して、□を確定させます。

このまま次の□をクリックすると方向線の方向に曲線が描画されてしまいます。
ここでは、鋭角な線を描きたいので、方向線の先端を、**Alt**キーを押しながらクリックして方向線の向きを変えます。

その手順を繰り返しながら、領域を作成していきます。
直線で領域線を引きたい時は、クリックで□を設定していきます。

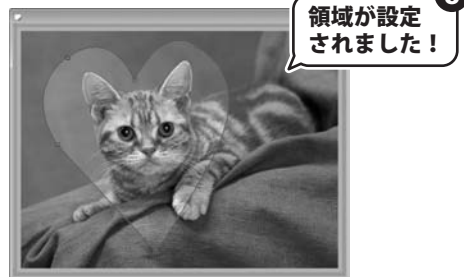
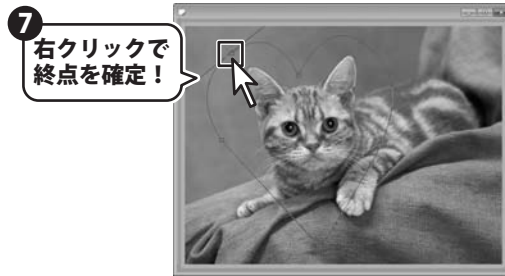


領域を操作する

終点が決まったら、右クリックで領域を確定させます。

※領域確定後に修正をしたい時は、□をクリックすると、方向線のハンドルが表示されますので、ドラッグでベジエ曲線の形状を変更することができます。

※□を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。「追加」を選択すると□を追加、「削除」を選択すると、右クリックした箇所の□が削除されます。



領域を操作する


画面全体を領域として選択する

画像全体を領域として選択することができます。

また、選択しているレイヤー全体を領域として選択することもできます。

※領域が選択されていない場合には、画像全体が領域として選択されている状態になっています。

メニューバー「領域」→「すべてを選択」をクリックで選択します。

※レイヤーサイズで領域を選択する場合は、先に、領域を選択するレイヤーを
 レイヤー選択ボタンで選択してください。

編集ウィンドウに表示されている画像全体が、領域として選択されて、
画像の四隅に□が表示されました。



※画像に領域を選択した状態から、全ての領域を選択したい場合は、領域上で右クリックでポップアップメニューを表示させて、「すべてを選択」もしくは、「レイヤーサイズで選択」を選択することで同じ操作を行うことができます。

※選択した領域の外枠線に表示されているポイント (□) をドラッグすることで、領域を作成した後でも、大きさの変更ができます。

領域が選択されている場合




領域を操作する

領域を移動する

選択した領域の移動を行います。
領域の移動は、同じ画像上でのみ行うことができます。

領域を選択します。

領域内にマウスが来ると、 に表示が変化します。

※領域の移動をする場合には、領域を選択した形状のツールが選択状態になっている必要があります。

ドラッグで、領域を移動させます。

領域内では表示が変化!

1
領域を選択!

2
ドラッグで領域を移動!

領域を反転させる

選択した領域を反転させ、
領域外の画像を領域データとして取り扱います。

領域を選択します。

オプションバーの「領域反転」にチェックを入れます。


※画面上では何も変化はありません。

1
領域を選択!

2
チェックを入れる!

3
領域外に効果!

ここでは、領域に対して画像に下記の効果をつけてみます。

 [効果]の「エフェクト」ボタンをクリックして、エフェクト画面を表示させて、「素焼き」を適用させます。

(※詳細は97~100ページを参照ください)

領域外に効果がつきました。


領域を操作する

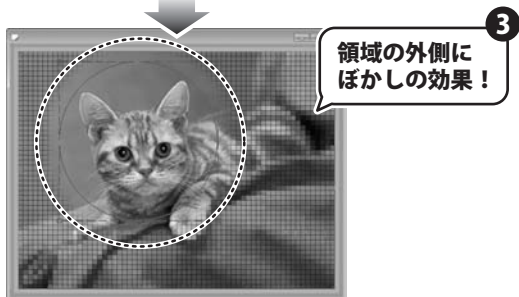
領域をぼかす

選択した領域内の画像を加工する時に、境界線をぼかします。
領域選択をする前に、「領域ぼかし」の欄にぼかし度合いを設定します。

オプションバーの「領域ぼかし」欄に、ぼかし度合いを入力します。
ここでは、わかりやすく「20」に設定します。

「領域ぼかし」を設定する対象の領域を選択します。

ここでは、「エフェクト」ツールで、「スタンドグラス」の効果を適用します。
領域枠の周りにぼかしがかかった状態で効果がかかりました。
※このように、ぼかしを上手に使いながら、様々な効果を行うことができます。



領域を操作する

領域を解除する

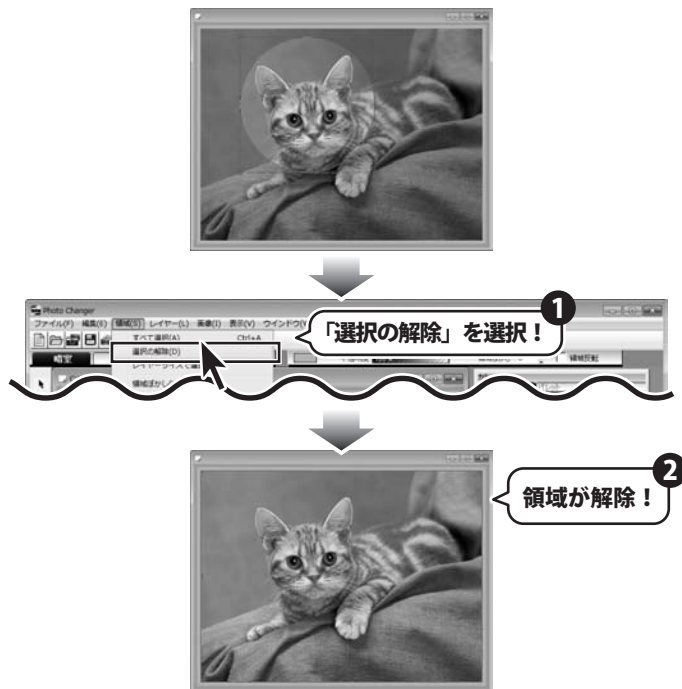
選択した領域を解除して、領域が選択されていない状態にします。

メニューバー「領域」→「選択の解除」を選択します。

※領域が選択されていない場合には、「領域の解除」は選択できません。

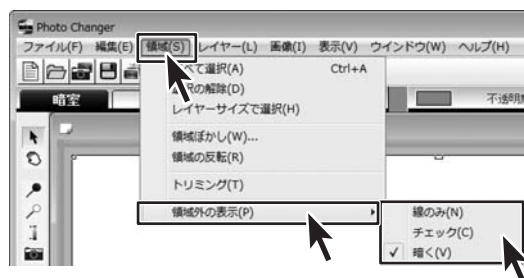
※画面の領域上で、右クリックして表示されるポップアップ画面から「選択の解除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

領域が解除されました。



領域外の表示方法を変更する

「Photo Changer」では、領域の表示方法を「線のみ」「チェック」「暗く」で切り替えることができます。メニューバー「領域」→「領域外の表示」から、使いやすい領域の表示方法を選択してください。初期設定では「暗く」に設定されています。



線のみ



チェック



暗く



画像を編集する

画像のコピー・貼り付け

画像全体や画像に設定した領域内の画像データをWindowsのクリップボードにコピーして、他の画像に貼り付けたり、切り出したりすることができます。

※クリップボードとは、パソコンのメインメモリ上の領域のことで、データは1つしか格納できません。最後に行ったコピーや切り取りデータのみ格納されます。再起動時には破棄されますのでご注意ください。

1 画像をコピーする

画像全体や領域内の画像データをクリップボードにコピーします。

コピーした画像データは、新しい画像として開いたり他の画像に貼り付けたりすることができます。


コピーする画像を用意します。

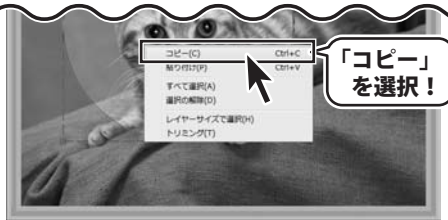
ここでは、「領域-[円]」で、円の領域を選択しました。

※領域を選択していない場合には、画像全体がコピーされます。

※複数のレイヤーで構成されている画像を表示している場合には、選択中のレイヤーの画像がコピーされます。

メニューバー「編集」→「コピー」を選択します。

※ツールバー  「コピー」ボタンをクリックで選択しても、同じ操作を行うことができます。
※領域を選択している場合は、領域内で右クリックしてポップアップ画面から「コピー」を選択しても同じ操作を行うことができます。



※キーボードの「Ctrlキー+C」のショートカットキーでも、同じ操作を行うことができます。




画像を編集する

2

画像を貼り付ける

先程、コピーをとった画像とは別に、貼り付け先となる画像ファイルを開きます。

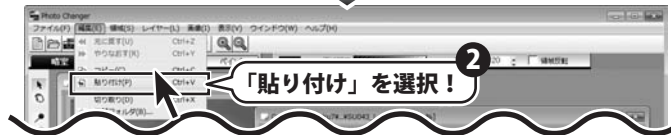
メニューバー「編集」→「貼り付け」を選択します。
※ツールバーの「貼り付け」ボタンをクリックしても、同じ操作を行うことができます。

貼り付け先の画像の上に「貼り付けプレビュー」が表示されます。

「貼り付けプレビュー」を右クリック（又は、ダブルクリック）して「貼り付けメニュー」を表示し、貼り付ける画像の大きさや形状を調整します。

貼り付け先の画像の上に「貼り付けプレビュー」が表示されます。

「貼り付けプレビュー」を右クリック（又は、ダブルクリック）して「貼り付けメニュー」を表示し、貼り付ける画像の大きさや形状を調整します。



memo

「貼り付けメニュー」の形状変換の種類

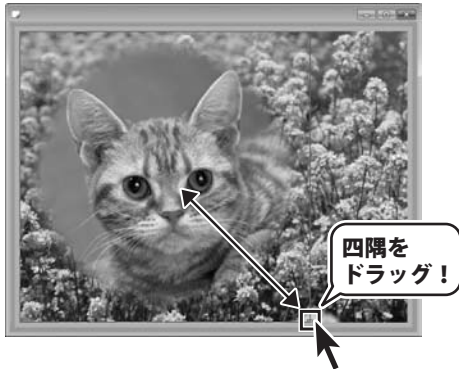


貼り付けメニュー

- ・拡大縮小
- ・自由変形
- ・平行四辺形
- ・回転
- ・元のサイズ
- ・キャンセル

拡大・縮小

貼り付ける画像の大きさを変更できます。枠の四隅に表示されるポイント (□) をドラッグして、調整します。Shiftキー+ドラッグで縦横比を維持できます。



自由変形

貼り付ける画像を自由に変形できます。枠に表示されるポイント (□) を、ドラッグで動かして変形させます。



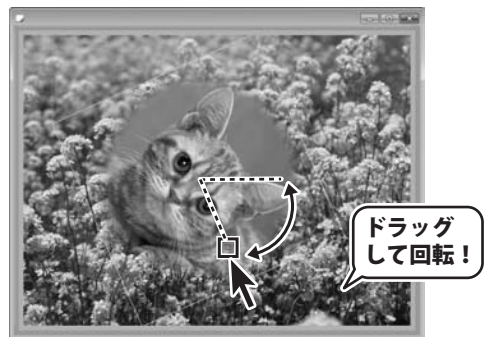
平行四辺形

貼り付ける画像を、平行四辺形に変形できます。枠の四隅に表示されるポイント (□) をドラッグして、画像を平行四辺形に変形します。



回転

貼り付ける画像を回転させます。プレビュー画像の中心から引かれた線の先に表示されるポイント (□) をドラッグして画像を回転します。



元のサイズ

変更した内容を、元に戻したい時に使用します。

キャンセル

貼り付けをキャンセルします。

画像を編集する

貼り付ける大きさや形状が決まったら、「貼り付けプレビュー」をドラッグで移動させて、任意の位置に配置します。

再度、「貼り付けメニュー」を表示させ、貼り付け方法を選択します。

このレイヤーに貼り付け

●このレイヤーに貼り付け

編集中のレイヤーに画像を貼り付けます。

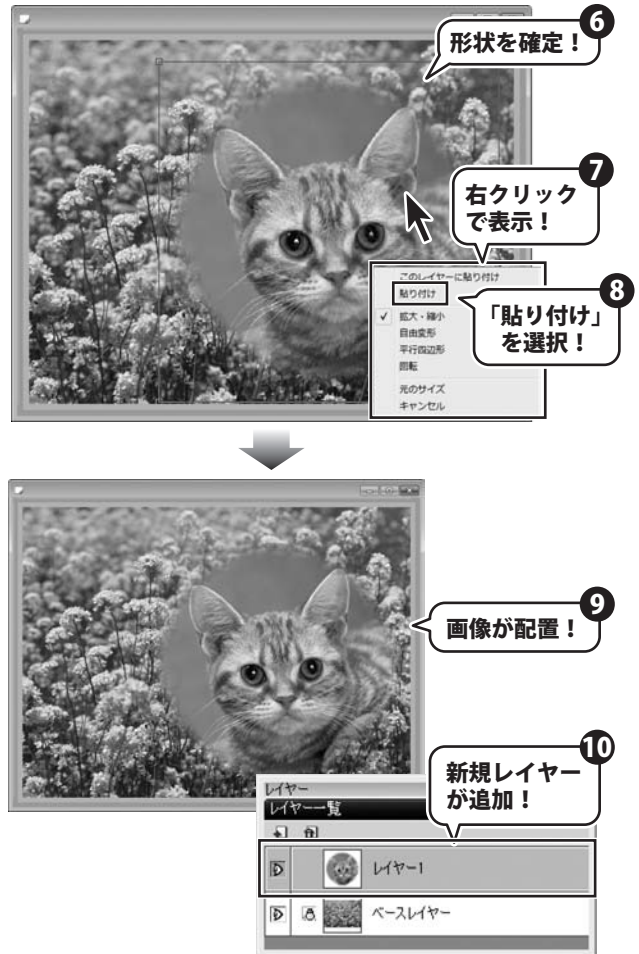
貼り付け

●貼り付け

新しいレイヤーを追加し、追加したレイヤーに画像を貼り付けます。後でも、貼り付けた画像の編集ができます。

ここでは、「貼り付け」を選択します。

新しいレイヤーが追加され、画像が配置されました。




画像を編集する

画像を切り取る

オプションバーの設定で、「領域ぼかし」を「20」「領域反転」にチェックを入れておきます。

領域ぼかし 20 領域反転

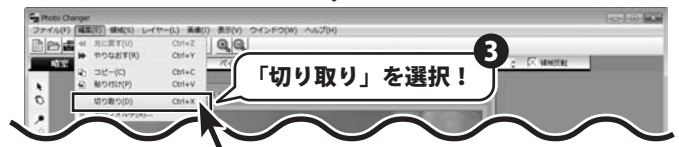
ここでは、「領域-[多角形]」ボタンで、領域を選択しました。

※領域選択をしていないと画面全体が、複数のレイヤーで構成されたデータの場合には、選択中のレイヤーの画像が切り取られます。

メニューバー「編集」→「切り取り」を選択します。

設定した「ぼかし」「領域反転」の設定効果が効いた状態で、選択した画像の外側が切り取られました。

※この時、切り取られると同時に、切り取られた部分がクリップボードにコピー（一時保存）されています。



画像を編集する

画像をトリミングする

一般的に「トリミング」というと、写真を部分的にカットすることを指しますが、「Photo Changer」では、画像の一部をカットして、カットした部分を新しい画像として表示します。
※複数のレイヤーで構成されている画像の場合は、レイヤーごとにトリミングします。
※座標の指定や、イメージを見ながらトリミング作業を進めたい時は、81ページ～の [暗室] を参照して、「トリミング」を選択してください。

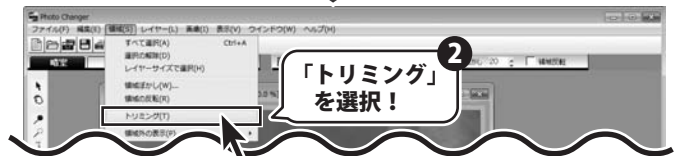
画像上のトリミングする部分を領域選択します。
※オプションバーの設定に気を付けましょう。

メニューバー「領域」→「トリミング」を選択します。
※画面上の領域内で右クリックして表示されるポップアップ画面の「トリミング」を選択しても同じ操作が行えます。



選択した領域内の画像が、新しい別ファイルとして表示されました。

トリミングで作成された画像を保存したい時は、メニューバー「ファイル」→「名前をつけて保存」で保存して下さい。




画像を編集する

素材を貼り付ける

「Photo Changer」に収録されている素材を画像に貼り付けることができます。

素材を貼り付ける画像を表示して、メニューバー「編集」→「素材フォルダ」を選択します。

※ツールバーの  「素材フォルダ」ボタンをクリックしても、同じ操作を行えます。

素材フォルダ画面が表示されます。

素材を選択して、OK ボタンをクリックします。画像上に、「貼り付けプレビュー」が表示されました。

画像上の「貼り付けプレビュー」は、コピーの貼り付け（※66～68ページ参照）と同様の操作で貼り付けられます。



memo

「素材」の追加登録

画像に面白みを加えるスタンプの様に使える「素材」について説明します。

素材フォルダ画面は、ツールバーの  「素材フォルダ」ボタンをクリックすると表示されます。

(※「素材フォルダ」画面については、71ページを参照してください。)

初期設定では、54個の素材が収録されています。

「素材」は画像に貼り付けて自由に加工することのできる便利なツールです。

この「素材」に自分の作った画像などを追加登録することができます。

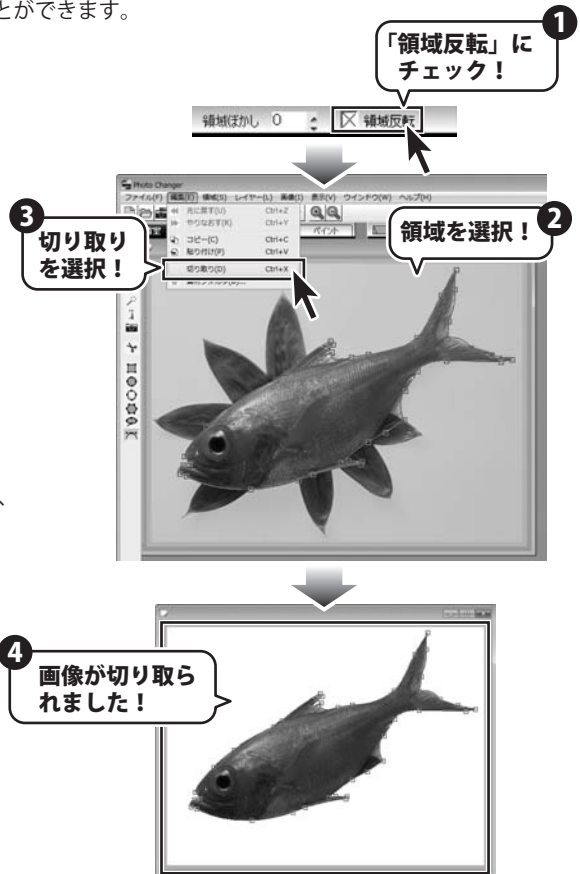
1 「素材」に追加したい画像作成する

「素材」に追加したい画像を開きます。

「素材」として使いたい部分のみを切り取ります。
オプションバーの「領域反転」に
チェックを入れてから領域を選択して、
メニューバー「編集」→「切り取り」を選択します。
(※69ページ参照)

追加したい「素材」で切り取られた画像ができました。

※PNGデータで保存する場合は、複製レイヤーでなく
「ベースレイヤー」のみで構成されたデータでないと、
うまく透過されません。



画像を編集する

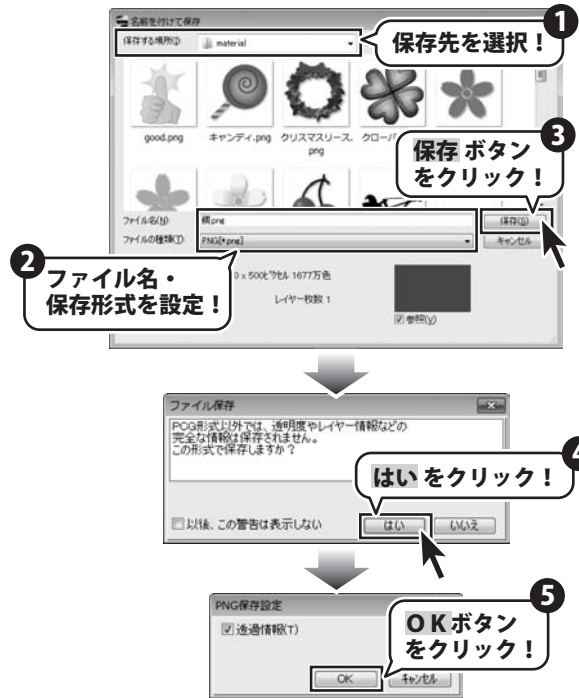
2 画像を「png」形式に保存する

メニューバー「保存」を選択すると、名前をつけて保存画面が表示されます。保存先を下記の場所を選択します。

「ローカルディスクC」→「Program Files」→「De-net」→「Photo Changer」→「Material」

ファイル名を、入力してます。ファイルの種類を「PNG」選択して、保存 ボタンをクリックします。

保存画面が表示されますので、はいをクリックします。PNG保存形式画面が表示されますので、「透過情報」にチェックを入れてOK ボタンをクリックします。

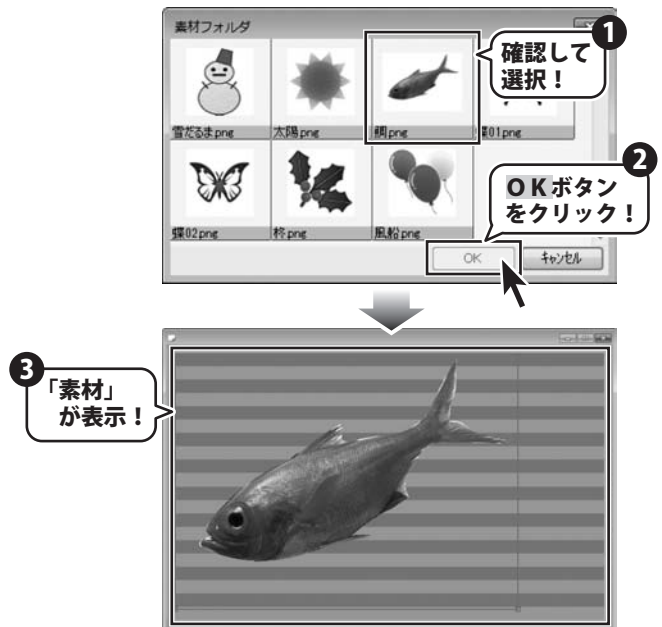


3 「素材」の追加登録を確認する

何か別の画像をファイルとして開いて、ツールバーの★「素材」ボタンをクリックして、素材フォルダ画面を表示させます。

登録した「素材」が素材フォルダ一覧に追加されている事を確認して選択し、OK ボタンをクリックします。

先ほど追加した素材が、表示されました。



画像を編集する

画像を複製する

「Photo Changer」では、画像を複製して新しい画像として表示することができます。複製を行う場合は、元画像の持つ透明度、レイヤー情報、Exif情報もそのまま複製されます。4通りの複製方法から選択できます。

メニューバー「画像」→複製する方法を選択します。
ここでは、「大きさを変えて複製」を選択します。

大きさを変えて複製画面が表示されます。

変更後のサイズを数値入力します。
この時、縦横比維持にチェックを入れておくと元画像の縦横比を維持したままが画像のサイズ大きさを変更します。

「変更後の幅」「変更後の高さ」のどちらかに数値を入力すると、もう一方の値を自動的に算出します。

設定がきたたら、OKボタンをクリックします。

大きさを変えた複製画像が作成されて、表示されました。



memo

複製の種類

複製

元画像の状態をそのまま複製して、新しい画像を作成します。

大きさを変えて複製

大きさを変えて、新しい画像を作成します。
※詳細は上記を参照ください。

上下反転して複製

元画像を上下反転して、新しい画像を作成します。

左右反転して複製

元画像を左右反転して、新しい画像を作成します。

画像を編集する

不透明度を設定する

不透明度を設定すると、画像に与える効果濃度を設定できます。
効果濃度を低く設定するほど、画像に与える効果は淡くなり、0%に設定すると、画像に効果を与えない状態になります。
[ペイント]での描画や、クリップボードの画像や素材・文字を貼り付ける時、
画像に効果をかける時など、すべての画像編集に対して、不透明度の設定値が反映されます。

画像ファイルを開きます。
先ず最初に、
オプションバーの「不透明度」のバーを
ドラッグで横にスライドさせて調節します。
ここでは、「60%」に設定します。



ツールバーから★「素材」ボタンを
クリックして、素材フォルダ画面を
表示させます。

ここでは、素材から「ハート05.png」を
選択しました。
形状・位置を調整して貼り付けます。

不透明効果の効いた状態で、素材が
貼り付けられました。



画像を編集する

memo

「不透明度」の設定のパターン

不透明度 0%



不透明度 30%



不透明度 60%



不透明度 100%



画像を編集する

ヒストグラムで画像を補正する

画像の階調を表すヒストグラムを使って、画像の明るさや色を補正します。

領域を選択して、領域内だけ補正を適応させることもできます。

ヒストグラムによる補正は、選択レイヤーにのみ反映されますので、複数レイヤーで構成された画像に使用する場合は、補正を行うレイヤーを選択しておく必要があります。

レイヤーオプション画面



画像プレビュー

補正の設定を行うと、補正結果が表示されます。

ヒストグラム

3点の制御線 (■) をドラッグして、画像の補正調節をします。左側の■が最も暗い部分、中央の■が中間の部分、右側の■が最も明るい部分になります。

チャンネル選択

補正を行うチャンネルを、明度・R・G・Bから選択します。選択したチャンネルごとにヒストグラム表示が変わります。

初期化

ヒストグラムの設定を初期値に戻します。

ペンモードボタン

ボタンをクリックすると、画面上のドラッグした部分にだけ設定した補正効果を適応させます。

適応

設定した補正を行います。

戻る

適応した補正をやり直します。

閉じる

ヒストグラム画面を閉じます。

1 画像を表示する

補正する画像を表示します。

ここでは、「ベースレイヤー」を調整するので「ベースレイヤー」を選択します。



画像を編集する

2 ヒストグラムを調整する

メニューバー「画像」→「ヒストグラム」を選択します。

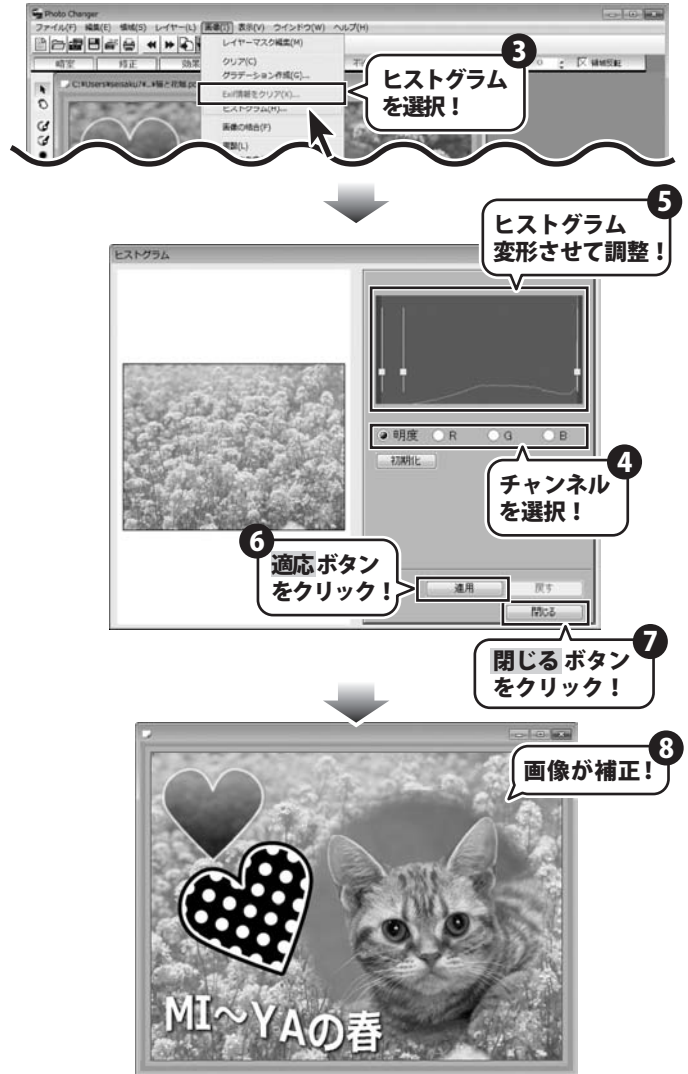
ヒストグラム画面が表示されます。

「画像プレビュー」で確認しながら、「チャンネル選択」で選択した「ヒストグラム」を変形して補正を行います。

設定が完了したら、**適応** ボタンをクリックすると、画面上でプレビュー画面を確認できます。

ヒストグラムの調整に問題なければ、ヒストグラム画面の**閉じる** をクリックします。


設定された補正が適応されました。



画像を編集する



ペンモードボタン

ペンモード  を選択して、任意のブラシを選択したら、画面上に任意の場所をドラッグして部分補正ができます。補正した内容の上を、右クリックでドラッグすると、補正前の状態に戻すことができます。



ドラッグで
部分補正!



右ドラッグで
補正を戻す!

画像を加工する

画像を加工するためのツールの使い方について説明しています。

暗室(現像作業を再現)

覆い焼き・焼き込み	81~82
色温度	83
カメラ効果	84~85
トリミング	86

修正(画像を補正)

クローンブラシ	87
回転	88
レンズ補正	89
変形補正	90
自動色補正	91
色調補正	92
フォーカス	93
トーンカーブ	94
赤目補正	95~96

効果(エフェクト加工)

エフェクト	97~100
3D効果	101
画像の合成	102~103

ペイント(ペン加工)

ブラシ	104~106
スポイト	106
直線・長方形・円・多角形・平行四辺形	107~109
塗りつぶし	110~111
文字	112~113

カラーパネルの使い方

ピッカー	114
パレット	115
テクスチャ	115~116

ブラシパネルの使い方	117
------------	-----

暗室 (現像作業を再現)

「暗室」では、画像の覆い焼き、焼き込みや、色温度の調整など、現像時に行うような効果や、セピアやソフトフォーカスなどカメラの効果を加えることもできます。



覆い焼き・焼き込み



覆い焼き ボタン

画像を明るくすることにより、露出不足の効果を適用します。
撮った写真が暗くなってしまった時、写真にメリハリをつける時などに使用します。



1

画像を表示します

[暗室]タブをクリックして、暗室画面を表示します。
効果をつけたい画像を開きます。



「覆い焼き」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2

覆い焼きの設定をします

覆い焼き画面が表示されますので、レベルの調節します。
レベルの数値が高いほど、明るい画像になります。
設定が終わりましたら、適用 ボタン、次に 閉じる ボタンをクリックします。

画像が明るくなりました。(上図参照)



適用 ボタンをクリック!

2

暗室 (現像作業を再現)



焼き込みボタン

画像を暗くすることにより、露出過多の効果を適用します。



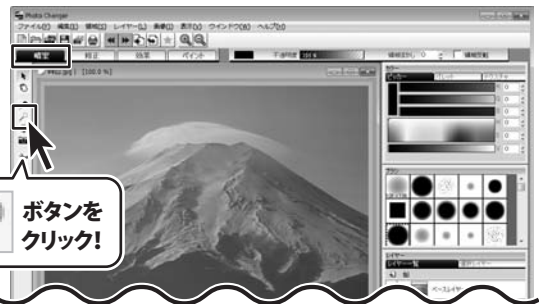
1 画像を表示します

[暗室]タブをクリックして、暗室画面を表示します。
効果をつけたい画像を開きます。



「焼き込み」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 焼き込みの設定をします

焼き込み画面が表示されますので、レベルの調節します。

レベルの数値が高いほど、暗い画像になります。

設定が終わりましたら、適用 ボタン、次に 閉じる ボタンをクリックします。

画像が暗くなりました。(上図参照)



memo



「ペンモード」

「ペン」モードをクリックすると、画面上でドラッグした部分に設定した効果がかかります。
ブラシパネルでブラシの大きさや種類を選択します。(ブラシパネルの詳細は117ページをご参照ください。)
効果をかけた位置に右クリックでドラッグすると、効果をかける前の画像に戻ります。

暗室 (現像作業を再現)

色温度



色温度 ボタン

色温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽい写真になります。
色温度のレベルを設定して、写真を適正な色味に調整することができます。



青空の山



夕焼けの山

1

画像を表示します

[暗室]タブをクリックして、暗室画面を表示します。
補正したい画像を開きます。



「色温度」ボタンをクリックします。



※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2

カメラ効果を選択します

色温度画面が表示されます。

をクリックして数値をマイナス (-) にすると赤味が強くなり、をクリックして数値をプラス (+) にすると、青みが強くなります。

左の画像の中にある枠をドラッグするとその範囲が拡大プレビューされます。
プレビューを確認しながら、数値を設定します。

設定が終わりましたら、**適用** ボタン、次に **閉じる** ボタンをクリックします。

青い空から、夕焼けの空になりました。
(上記参照)



各項目を設定!

1

適用 ボタンをクリック!

2

カメラ効果



カメラ効果 ボタン

画像をセピア色にしたり、ハイライト効果をつけたりなど、カメラの効果適用するツールです。効果の種類を選択して、効果のかかる大きさを調整します。



ハイライトの効果



ソフトフォーカスの効果

1

カメラ効果画面を表示します

[暗室]タブをクリックして、暗室画面を表示します。
アレンジしたい画像を開きます。



「カメラ効果」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



ボタンをクリック!

2

カメラ効果を選択します

カメラ画面が表示されましたら、をクリックして、カメラ効果の一覧を表示させます。
一覧の中からカメラ効果の種類を選択します。



左の画像の中にある枠をドラッグするとその範囲が拡大プレビューされます。
プレビューを確認しながら、1~5の効果のレベルを選択します。

設定が終わりましたら、**適用** ボタン、次に **閉じる** ボタンをクリックします。

カメラの効果が反映されました。(上記参照)

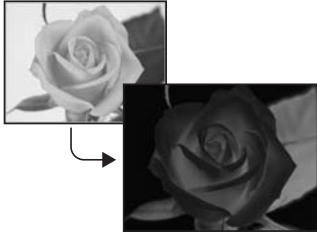


各項目を設定!

枠をドラッグして移動すると、その枠内を拡大プレビュー!

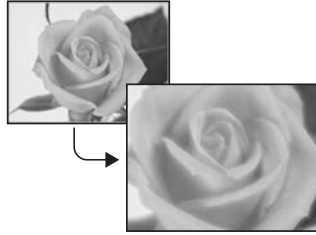
適用 ボタンをクリック!

カメラ効果の種類



ネガ反転

画像にネガ反転の効果をかけます。



ソフトフォーカス

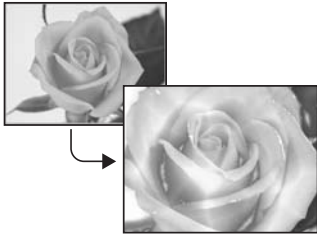
画像をにじませる効果をかけます。

↑拡大図



セピア

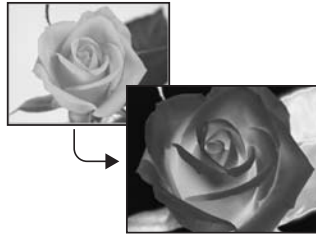
画像をセピア色に変換します。



ハイライト

画像を部分的に明るく光らせる効果をかけます。

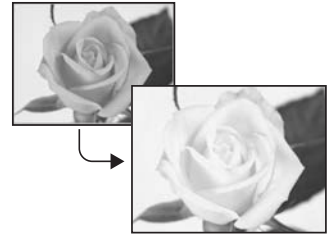
↑拡大図



ソラリゼーション

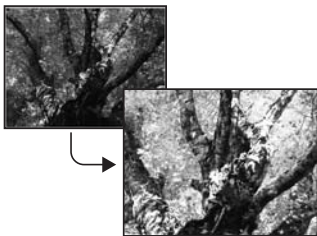
画像の白と黒の部分を反転させる効果をかけます。

↑拡大図



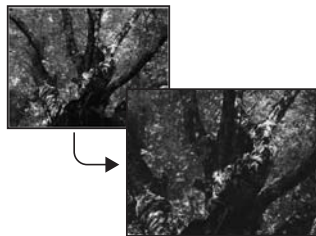
白黒写真

画像を白黒写真に変換します。



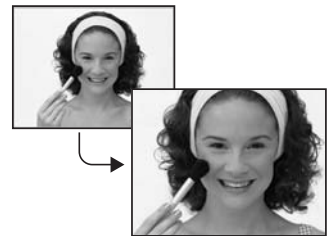
新緑

画像上にある緑を鮮やかにします。効果レベルが高いほど、緑が鮮やかになります。



紅葉

画像上にある緑を赤味がかかったように変換し、紅葉写真のようにします。効果レベルが高いほど、赤味が強くなります。



肌をきれいに

画像上の肌色を探して、彩度を上げ、赤味を加えて、肌がきれいに見える色に調整します。


↑拡大図




「トリミング」

画像を部分的にカットすることをトリミングといいます。

1 トリミングしたい画像を表示します。

2  「領域一長方形」 ボタンをクリックして、トリミング領域を設定します。領域は、後からでも自由に調整ができます。

3  「トリミング」 ボタンをクリックして、トリミング画面を表示します。トリミングのプレビュー表示をします。元の画面に戻って位置、大きさを調整することができます。また、始点、終点の座標数値を変更して調整することもできます。

4 設定が終わりましたら、**トリミング** ボタンをクリックします。元の画面とは別に新しい画面が作成され、トリミングされた画像が表示されます。

5 トリミングして新しく作成された画面は、名前をつけて保存してください。
※保存方法は32ページをご参照ください。



「領域」ボタンをクリック!



「トリミング」ボタンをクリック!



座標数値を入力して調整することも可能!



新しい画面にトリミングされた画像が表示!

修正 (画像を補正)

「修正」では、画像の歪みなどを修正するレンズ補正や、色調補正、フォーカス補正、赤目補正など、画像を補正する機能があります。



クローンブラシ



クローンブラシ ボタン

画像に写っている不要なものなどを、指定した部分をコピーして描画する場合などに使用します。



←飛行機を削除

1

補正したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。

補正したい画像を開きます。

飛行機を消して、空の色に変えます。



「クローンブラシ」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。

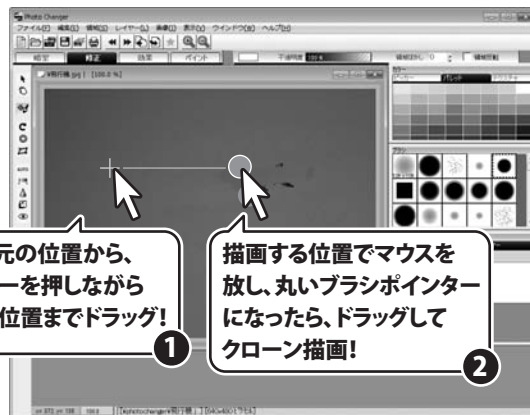


2

クローン元を設定をします

キーボードの **shift** キーを押しながら、クローン元 (コピー元) の位置からドラッグを開始して、クローン描画する位置 (コピー先) でマウスボタンを放します。

クローン元の画像の位置に、十字のマウスポインターが表示され、描画する位置は丸いブラシポインターになります。その状態でドラッグして、クローン描画を行います。



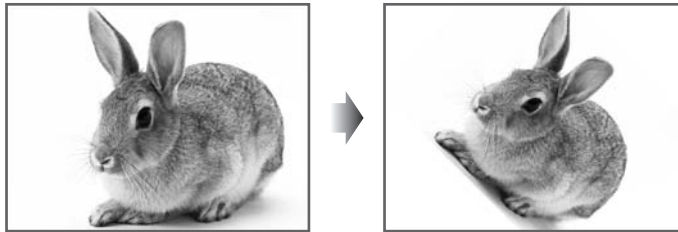
修正 (画像を補正)

回転



回転 ボタン

画像を回転させて新しい画像として作成します。
元の画像の持つ透明度、レイヤー情報、Exif情報もそのまま継承されます。



1 回転したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。
回転したい画像を開きます。



「回転」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 回転の設定をします

回転画面が表示されます。
ここでは、自由角度を選択して、右側の欄に45と入力しました。
0.00~359.99度の間で任意の角度を設定して回転することができます。
左側にプレビュー画面が表示されますので、確認しながら、角度を設定することができます。

設定が完了したら、OK ボタンをクリックします。

新しい画面に、回転された画像が表示されますので、別名保存で保存します。



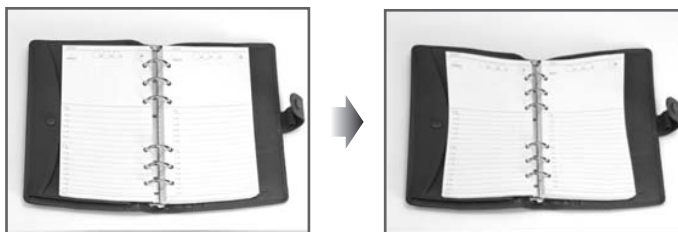
修正 (画像を補正)

レンズ補正



レンズ補正 ボタン

カメラのレンズによる撮影の歪みを補正します。



1 補正したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。
補正したい画像を開きます。



「レンズ補正」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 レンズ補正の設定をします

レンズ補正画面が表示されます。
補正のかり具合を、スライダーバーをドラッグして設定します。

- 補正量を、「+0」に設定すると補正は行われません。
- カーブは、中心からの距離に応じて、歪みの量が変化している場合に設定します。
- バランスは、中心からの距離に応じて、歪みの量が変化している場合、変更点をどこに置くかを設定します。「+0」に設定すると補正は行われません。「+100」に設定すると、画像の端に変更点を置きます。

設定が終わりましたら、適用 ボタン、次に 閉じる ボタンをクリックします。

手帳の歪みが修正されました。(上図参照)



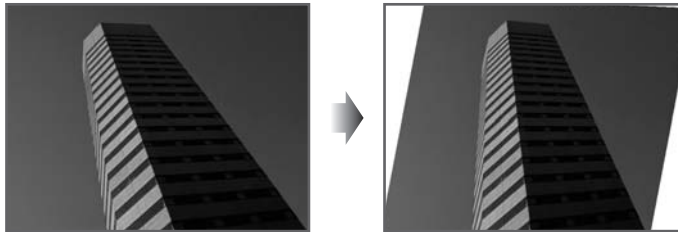
修正 (画像を補正)

変形補正



変形補正 ボタン

画像を変形させて補正をします。



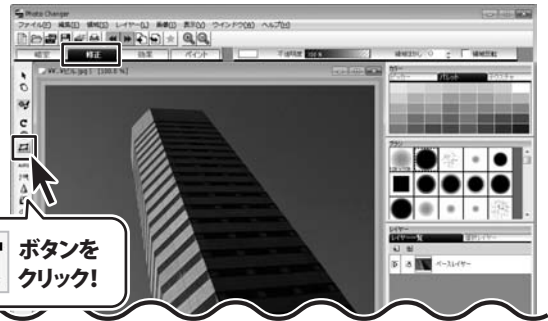
1 変形したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。
変形させたい画像を開きます。



「変形補正」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。

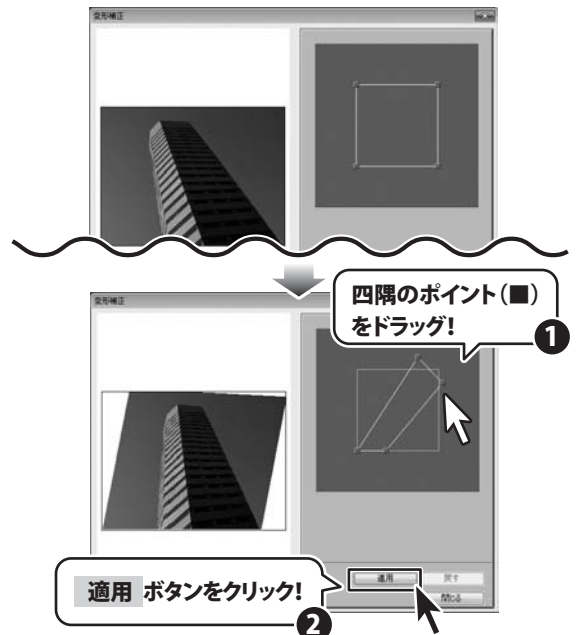


2 レンズ補正の設定をします

変形補正画面が表示されます。
正方形の四隅のポイント (■) を変形したい方向へドラッグします。
左側に変形されたプレビュー画像が表示されますので、確認しながら設定ができます。

設定が終わりましたら、適用 ボタン、次に 閉じる ボタンをクリックします。

ビルの形が変更されました。(上図参照)

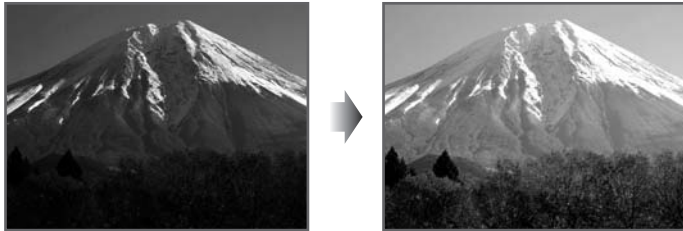


修正 (画像を補正)

自動色補正

AUTO 自動色補正 ボタン

画像に合わせて、最適な色補正を自動で行います。
明るさ、コントラスト、彩度を自動的に補正します。



1 補正したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示
します。
補正したい画像を開きます。

AUTO 「自動色補正」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 自動色補正されます

「自動補正」ボタンをクリックするだけで、
明るさ、コントラスト、彩度が自動色補正
されます。

画像によっては、自動色補正で画像にあった
補正にならない場合があります。
その場合には、「色調補正」を使用して
補正を行ってください。

※色調補正の詳細は92ページをご参照ください。



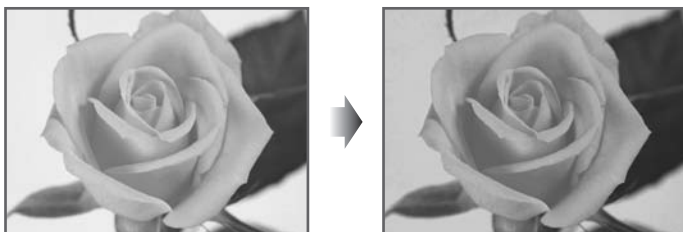
修正 (画像を補正)

色調補正



色調補正 ボタン

画像の明るさ、軟調/硬調、鮮やかさ、カラーバランス (RGB、CMY) を調整して、画像の色調を補正します。



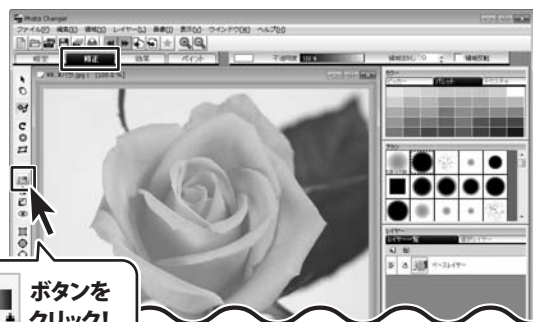
1 色調補正したい画像を表示します

[修正] タブをクリックして、修正画面を表示します。
色調補正したい画像を開きます。



「色調補正」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 色調補正の設定をします

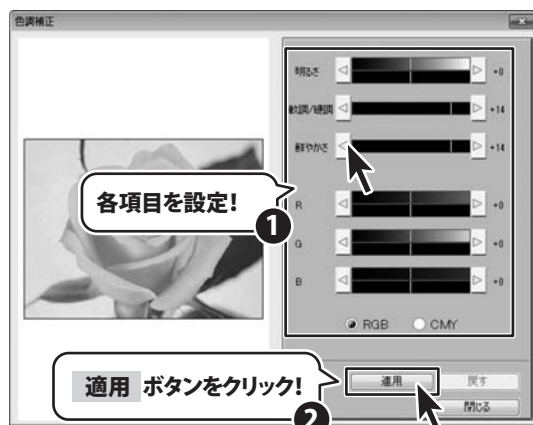
色調補正画面が表示されます。

- 明るさは、画像の明暗を修正します。右側 (+) が明るく、左側 (-) が暗くなります。
- 軟調 / 硬調は、画像のコントラストを修正します。右側 (+) が鮮明になり、左側 (-) が不鮮明になります。
- 鮮やかさは、画像の鮮やかさを修正します。数値が高くなるほど、鮮やかになります。
- カラーバランスは、RGB または CMY で各色の量を設定します。

左側のプレビュー画面で、色調補正のかかり具合を確認しながら設定できます。

設定が終わりましたら、**適用** ボタン、次に **閉じる** ボタンをクリックします。

色調補正された画像になりました。(上図参照)



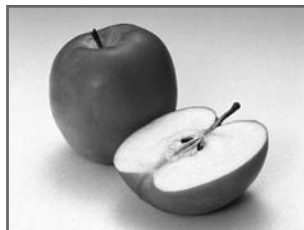
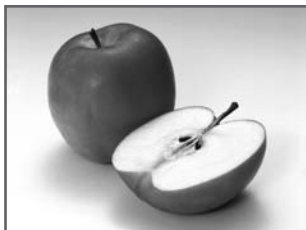
修正 (画像を補正)

フォーカス



フォーカス ボタン

画像の輪郭を強調してシャープにしたり、輪郭線をぼかしてソフトな画像にしたりできます。デジタルカメラで撮影した画像に銀塩写真の粒状感を出すこともできます。



シャープで粒状感のある画像に修正

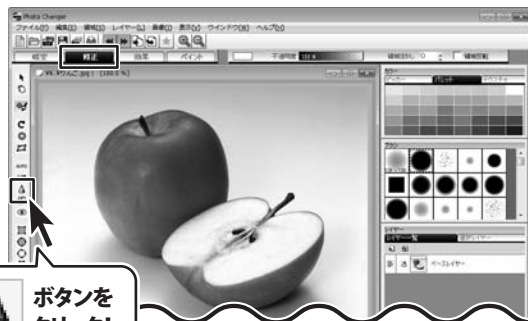
1 補正したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。
補正したい画像を開きます。



「フォーカス」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 色調補正の設定をします

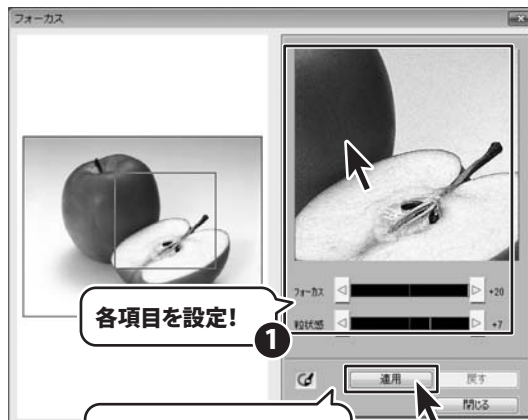
フォーカス画面が表示されます。

フォーカスの数値を(+)にすると、鮮明になり、(-)にすると不鮮明な画像になります。
粒状感は、画像に銀塩写真の粒子状の効果をかけます。

(+)にすると、ざらつき感がでて、(-)にすると、なめらかになります。

設定が終わりましたら、適用 ボタン、次に 閉じる ボタンをクリックします。

フォーカス補正された画像になりました。
(上図参照)



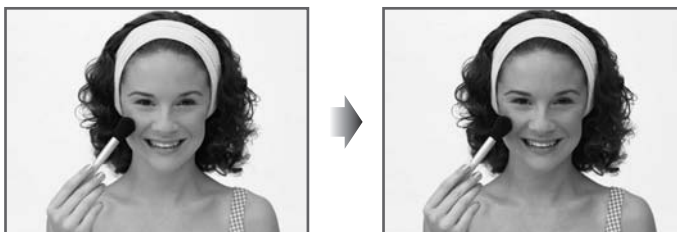
修正 (画像を補正)

トーンカーブ



トーンカーブ ボタン

画像の色や明度、彩度、色相を、トーンカーブと呼ばれる補正曲線を使って補正します。



顔色を変化させる

1 補正したい画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。
補正したい画像を開きます。



「トーンカーブ」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



ボタンをクリック!

2 トーンカーブの設定をします

トーンカーブ画面が表示されます。

- 曲線は、ベジェ曲線 (曲線) または直線を選択します。
- チャンネルは、修正を行うチャンネルを、赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー、色相、彩度、明度、RGBの中から選択します。
- 制御点は、トーンカーブ上の制御点 (■) の数を3~8の中から選択します。制御点が多いほど、細かな補正が行えます。

右図例) 曲線: ベジェ曲線、
チャンネル: マゼンタ、制御点: 8
8つの制御点をドラッグで移動させて、カーブの形を変更します。

設定が終わりましたら、適用 ボタン、次に 閉じる ボタンをクリックします。



適用 ボタンをクリック!

修正 (画像を補正)

赤目補正



赤目補正 ボタン

暗いところで撮影した時などに赤目になった写真を修正します。
ハイライトをつけて眼の輝きを強くしたり、瞳の色を変えたりすることができます。



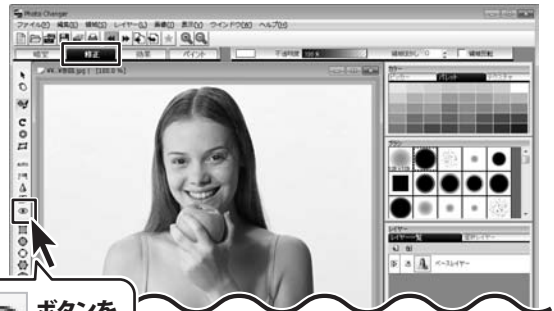
1 赤目補正する画像を表示します

[修正]タブをクリックして、修正画面を表示します。
補正したい画像を開きます。



「赤目補正」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページを参照ください。



ボタンをクリック!

2 赤目補正の効果を設定します

赤目補正画面が表示されます。
表示倍率を1倍(×1)～16倍(×16)の中から
選択して、拡大プレビュー表示の大きさを
設定します。
左の画像の中にある枠をドラッグすると
その範囲が拡大プレビューされます。

右の拡大プレビュー上で、赤目補正する範囲を
ドラッグして設定します。



枠をドラッグして
移動すると、その枠内を
拡大プレビュー!

赤目補正する範囲を
ドラッグで領域指定!

修正 (画像を補正)

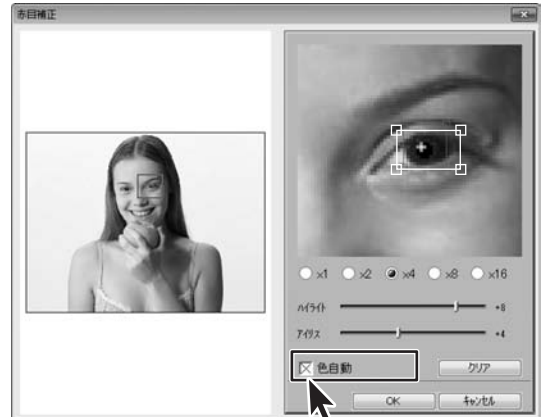
ハイライトの数値を大きくすると、眼の輝きが強くなります。

アイリス (虹彩) の大きさを、バーをドラッグして設定します。

眼の色を変えたい場合は、色自動のチェックを外すと、色... ボタンが表示されますので、クリックします。

アイリスの色画面が表示されますので、変更したい色を選択して、OK ボタンをクリックします。

選択した色の瞳になります。



をクリックして
チェックを外す () と
色を選択できます!

1



色を選択!

2

OK ボタンをクリック!

3



指定した色の瞳に
変わりました!

4

効果(エフェクト加工)

「効果」では、画像を加工する機能があります。水彩画、色鉛筆などタッチを変える効果をかけたり、2つの画像を合成したり、また3D化してボタンなどを作成することができます。

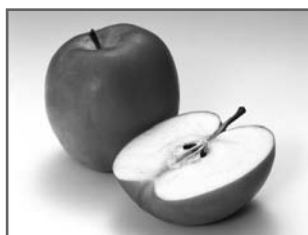


エフェクト



エフェクト ボタン

水彩画やハードブラシなどのエフェクト加工ができます。画像に様々な効果をかけてアレンジを楽しむことができます。



水彩画の効果



ハードブラシの効果

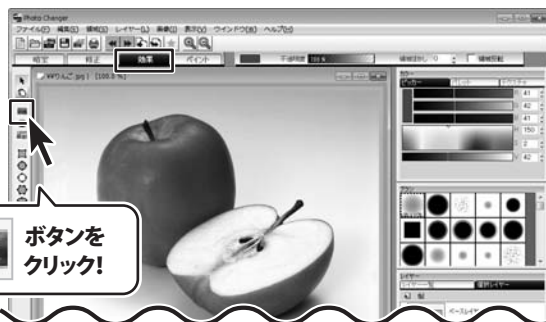
1 加工したい画像を表示します

[効果]タブをクリックして、修正画面を表示します。
加工したい画像を開きます。



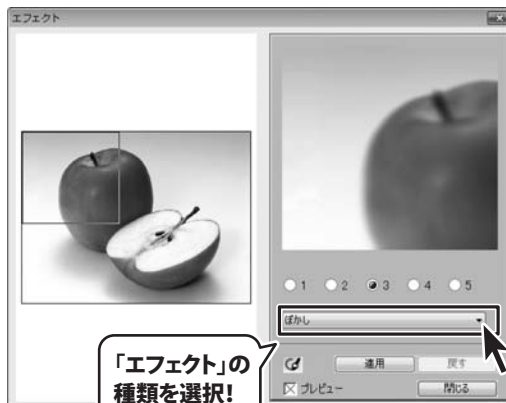
「エフェクト」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。



2 エフェクトの効果を設定します

エフェクト画面が表示されましたら、 をクリックして、エフェクトの一覧を表示させます。
一覧の中からエフェクトの種類を選択します。



効果(エフェクト加工)

3

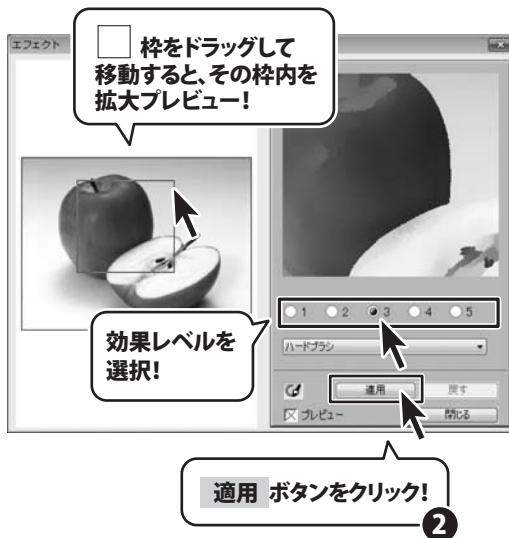
効果レベルを選択します

エフェクトの種類が決まりましたら、その効果のレベルを5段階の中から選択します。

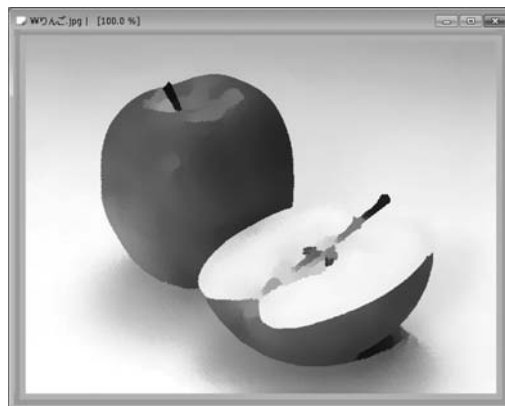
プレビューチェックボックスをクリックして「プレビュー」のようにチェックを入れると、エフェクト画面右側に拡大プレビュー表示します。

左の画像の中にある枠をドラッグするとその範囲が拡大プレビューされます。エフェクトのかかり具合をプレビューで確認しながら、効果レベルを調節します。

設定が終わりましたら、**適用** ボタン、次に **閉じる** ボタンをクリックします。



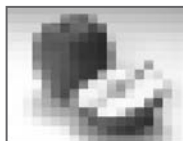
ハードブラシでエフェクト加工ができました。



エフェクトの種類



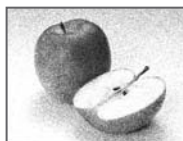
ぼかし
画像をぼかします。



モザイク
正方形のモザイク画にします。



陰影
画像に陰影をつけます。



ランダム
画像にランダムディザの効果を与えます。



2値化
画像を白と黒の2階調に変換します。



かきませ
画像をかきませます。



ハーフトーン
画像をハーフトーン（中間調）にします。



色相マッピング
画像を色相マッピング化します。



輪郭線
画像のエッジを際立たせます。



彩度マッピング
画像を彩度マッピング化します。



レリーフ
画像を浮き彫りにします。



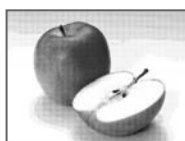
でこぼこ
画像をでこぼこにします。



水彩
画像を水彩画のようにします。
ウォッシュ技法で処理し、
やや濃いタッチになります。



ハードブラシ
画像をハードブラシで
描画したような絵画調にします。



ディザ
画像をディザ処理します。
（誤差拡散）



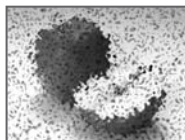
切り絵
画像を切り絵調にします。

エフェクトの種類



ソフトブラシ

画像をソフトブラシで描画したような絵画調にします。



ガラス

画像をガラス化します。



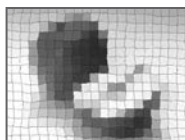
パステル

画像をパステル画のようにします。



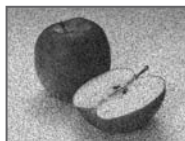
素焼き

画像を素焼きのようにします。効果のレベルが高くなるほど、タイルの大きさが大きくなります。



スタンドグラス

スタンドグラスのような画像に仕上げます。効果のレベルを上げると、1枚1枚のガラスが大きくなります。



霧吹き

画像に霧吹きで吹きつけたような効果を与えます。



ぶれ

画像にぶれ感を与えます。



網点

画像を網点化します。



点描

画像を点描したような画像にします。



にじみ

画像をにじんだ印象に仕上げます。



ゴールド

画像に金色の質感を出します。



スチール

画像に鋼鉄の質感を出します。



銅パー

画像に銅色の質感を出します。

効果(エフェクト加工)

3D効果



3D効果 ボタン

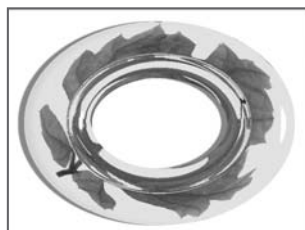
選択したレイヤー画像全体を3D化(立体化)します。
3Dの形は、陰影、球、ドーナツの3種類から選択します。



陰影



球



ドーナツ

1 画像を表示します

[効果]タブをクリックして、効果画面を表示します。
アレンジしたい画像を開きます。



「3D効果」ボタンをクリックします。

※画像の開き方は22ページをご参照ください。

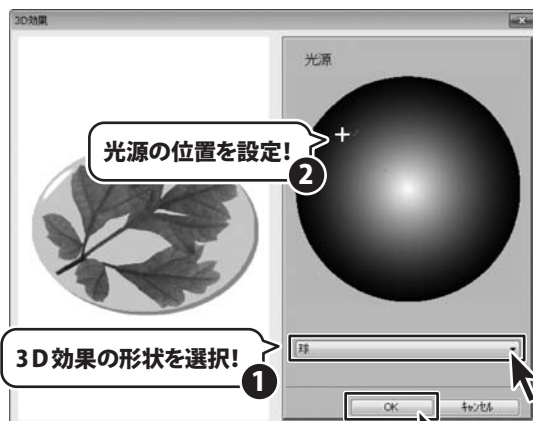


2 3D効果の設定をします

3D効果画面が表示されましたら、をクリックして、3D効果の形を選択します。

光源の位置を変更することができます。
十字のポイントをドラッグで移動して、光源の位置を決めます。

OK ボタンをクリックすると、選択した形の3D効果が画像に反映されます。

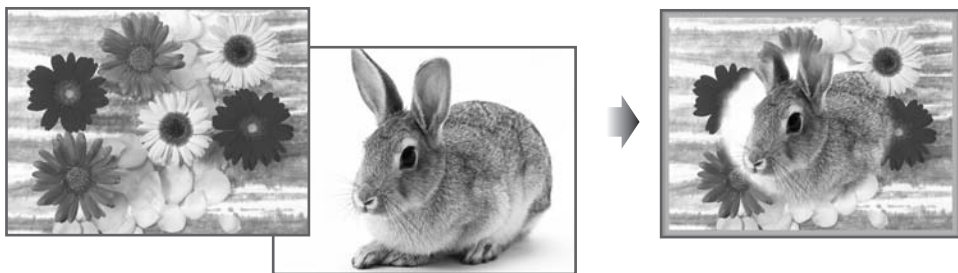


画像の合成



画像の合成 ボタン

2枚の画像を使用して合成を行います。



1 合成する画像を2枚表示します

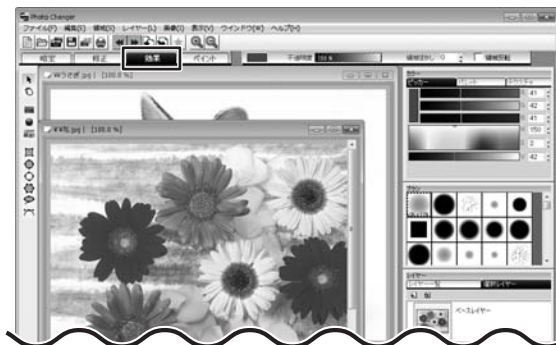
[効果]タブをクリックして、効果画面を表示します。

合成したい2つの画像を表示します。

(画像の開き方は22ページを参照ください)

合成するときに背景(下)になる画像

(ここでは花の写真)画面のタイトルバーをクリックして上に表示させておきます。



2 上になる画像に領域設定をします

ここでは、ウサギの写真が上になります。
うさぎをまるで切り抜き、まわりをぼかします。



「領域ぼかし」ボタンをクリックして、
画像の上でドラッグして円を作ります。
切り抜きたい位置に設定ができましたら、
領域ぼかしの数値を設定(例:20)します。



「領域ぼかし」
ボタンをクリック!

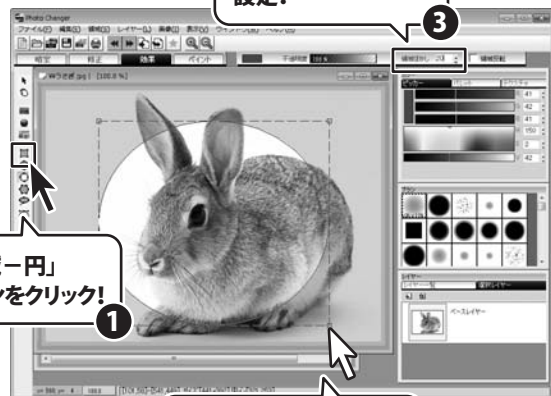
1

切り抜く範囲をドラッグ
して、領域設定!

2

領域ぼかしの数値を「20」に
設定!

3




3 画像の合成の設定をします

合成するときに背景(下)になる画像(ここでは花の写真)画面のタイトルバーをクリックして上に表示させておきます。



「画像の合成」ボタンをクリックします。

画像の合成画面が表示されます。

- 右上の欄には、上になる画像のファイル名が表示されます。
- 不透明度は、上になる画像の不透明度を設定します。(例: 90%に設定)
- サイズは、上になる画像の大きさを設定します。(例: 100%に設定)
- 合成のパターンは、黒い部分が描画され、白い部分が描画されなくなります。ここでは、パターン  を選択します。
- 左側のプレビュー画面をドラッグすると、上になる画像の位置を調整できます。

各々の設定がおわりましたら、OK ボタンをクリックします。



OK ボタンをクリック!

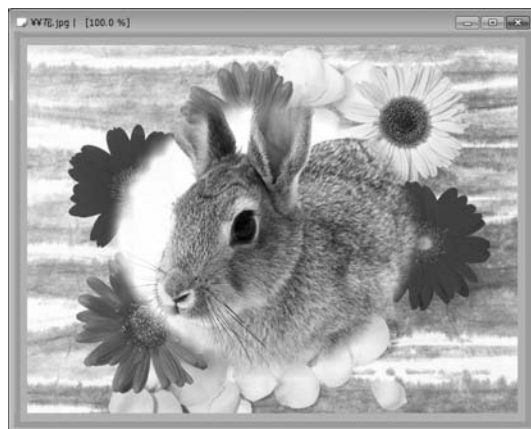
4 合成画像が出来上がりました

右のような合成画像ができ上がりました。

背景画像(花の写真)にレイヤーが追加されました。



※レイヤーの詳細は、40ページをご参照ください。



ペイント(ペン加工)

「ペイント」では、ペンを使用して画像に描画します。画像にフリーハンドで描画したり、一部をブラシでぼかしたり、テクスチャを使用してデコレーションしたり、画像のアレンジを楽しむことができます。

暗室

修正

効果

ペイント

ブラシ



ブラシ ボタン

画像の上でフリーハンドでドラッグした部分に描画します。
カラーパネルで選択した色とブラシパネルで選択したブラシで描画します。



「ブラシ」ボタンをクリックします。
画像の上をドラッグすると、カラーパネルで
選択した色と、ブラシパネルで選択したブラシ
で描画します。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照
ください。

※ブラシパネルの使い方の詳細は、117ページをご参照
ください。



レインボー ボタン

画像の上でフリーハンドでドラッグした部分に描画します。
ブラシの色は虹色に変化し、ブラシの形状はブラシパネルで
選択したもので描画されます。



「レインボー」ボタンをクリックします。
画像の上をドラッグすると、ブラシの色は
虹色に変化し、ブラシの形状はブラシパネルで
選択したもので描画されます。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照
ください。

※ブラシパネルの使い方の詳細は、117ページをご参照
ください。



ペイント(ペン加工)



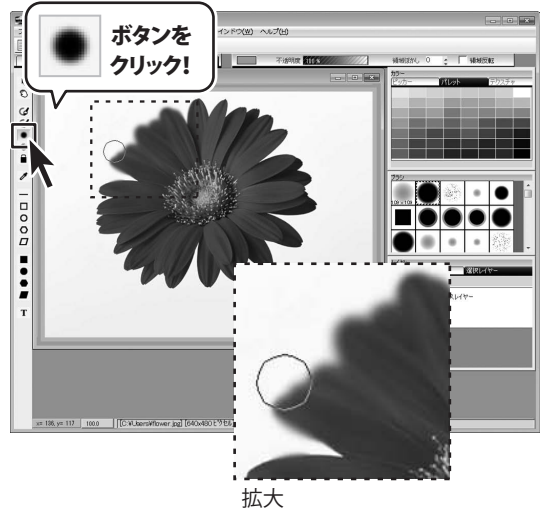
ぼかし ボタン

ブラシで描画した部分を、ぼかします。
ブラシパネルで選択したブラシの形状で描画します。



「ぼかし」ボタンをクリックします。
画像の上をドラッグすると、ブラシパネルで
選択したブラシの形状で描画します。
ドラッグした部分の画像をぼかします。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照
ください。
※ブラシパネルの使い方の詳細は、117ページをご参照
ください。



こする ボタン

ブラシで描画した部分をこすったような効果を加えます。
ブラシパネルで選択したブラシの形状で描画します。



「こする」ボタンをクリックします。
画像の上をドラッグすると、ブラシパネルで
選択したブラシの形状で描画します。
ドラッグした部分の画像をこすります。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照
ください。
※ブラシパネルの使い方の詳細は、117ページをご参照
ください。



ペイント(ペン加工)



ケシゴム ボタン

画像上でドラッグした部分の画像を消去します。
ブラシパネルで選択したブラシの形状で消去されます。消去した部分は透明(白)になります。



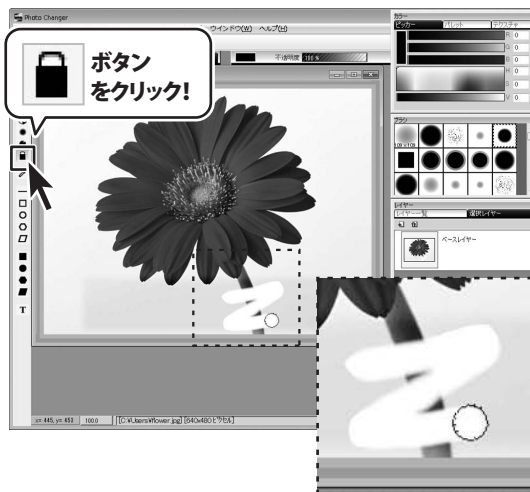
「ケシゴム」ボタンをクリックします。

画像の上をドラッグすると、ブラシパネルで
選択したブラシの形状でドラッグした部分の
画像を消します。
消した部分は、透明になり透過されます。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照
ください。

※ブラシパネルの使い方の詳細は、117ページをご参照
ください。

ケシゴムツールで消した部分を、右ドラッグする
と、消す前の画像に戻すことができます。



拡大

スポイト



スポイト ボタン

画像上でクリックした部分の色を取得して、描画色として使用できるようにします。
画像上にマウスポインターを移動すると、形状がスポイトの形になります。



「スポイト」ボタンをクリックします。

画像上でクリックすると、マウスポインターが
スポイトの形状に変わって、色を取得します。
描画色として使用できるようになります。

ブラシ、レイナー、ぼかし、こすりの各ツールを
使用している場合、右クリックすると、スポイト
ツールになります。



ペイント(ペン加工)

直線・長方形・円・多角形・平行四辺形

直線 ボタン

画像上でドラッグして直線を描画します。ドラッグの始点と終点の間を直線で結びます。カラーパネルで選択した色とブラシパネルで選択した形状(●または■)で描画します。



「直線」ボタンをクリックします。画像上でドラッグする始点と終点の間を直線で結びます。カラーパネルで選択した色と、ブラシパネルで選択した線の太さ、形状(●または■)で描画します。



始点で **shift** キーを押しながらドラッグすると直線の角度を15度毎に固定して、直線を引くことができます。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



長方形 ボタン

画像に長方形の輪郭線を描画します。画像上で始点から斜め方向にドラッグします。カラーパネルで選択した色とブラシパネルで選択した形状(●または■)で描画します。

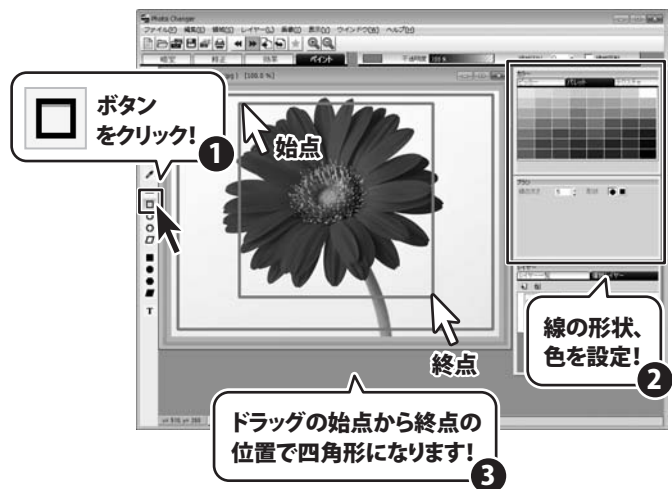


「長方形」ボタンをクリックします。画像上で始点から斜め方向にドラッグすると四角形が描画されます。カラーパネルで選択した色と、ブラシパネルで選択した線の太さ、形状(●または■)で描画します。



始点で **shift** キーを押しながらドラッグすると、正方形を描画することができます。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



ペイント(ペン加工)



円 ボタン

画像に円形の輪郭線を描画します。画像上で始点から斜め方向にドラッグします。カラーパネルで選択した色とブラシパネルで選択した線の太さ、形状(●または■)で描画します。



「円」ボタンをクリックします。

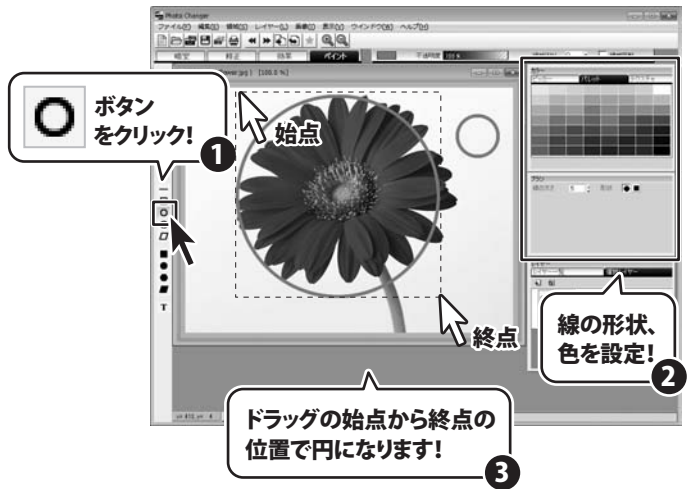
画像上で始点から斜め方向にドラッグすると円が描画されます。

カラーパネルで選択した色と、ブラシパネルで選択した線の太さ、形状(●または■)で描画します。



始点で **shift** キーを押しながらドラッグすると、正円を描画することができます。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



多角形 ボタン

画像に多角形の輪郭線を描画します。始点をクリックして、次の位置へクリックして多角形の角を指定していきます。右クリックで多角形を確定します。

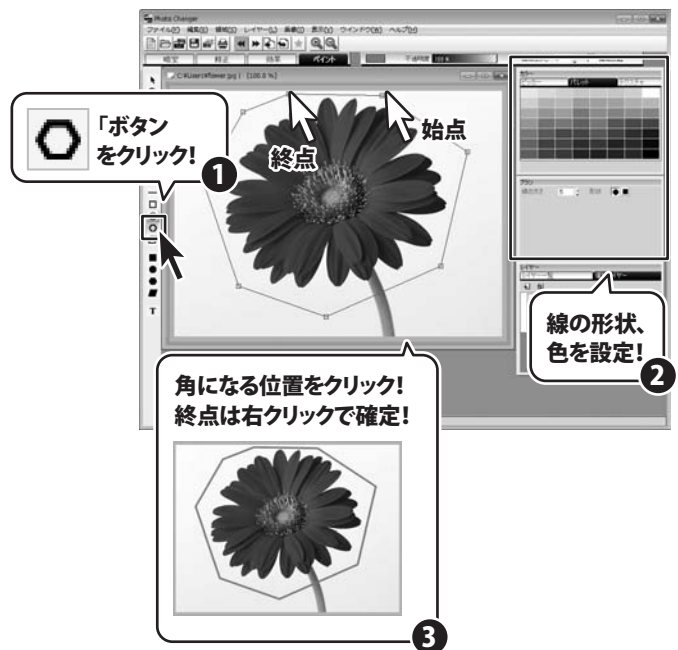


「多角形」ボタンをクリックします。

始点をクリックして、次の位置へクリックしてしていきます。右クリックで多角形を確定します。カラーパネルで選択した色と、ブラシパネルで選択した線の太さ、形状(●または■)で描画します。



※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



ペイント(ペン加工)



平行四辺形 ボタン

画像に平行四辺形の輪郭線を描画します。画像上の2点をクリックして、平行四辺形の一辺を決めてからドラッグすると平行四辺形を形成します。大きさと角度が決まった位置でクリックします。



「平行四辺形」ボタンをクリックします。画像上の2点(右図のクリック1、クリック2)をクリックして、平行四辺形の一辺を決めます。そのままドラッグすると平行四辺形を形成します。大きさと角度が決まった位置(クリック3)でクリックすると平行四辺形が確定します。カラーパネルで選択した色と、ブラシパネルで選択した線の太さ、形状(●または■)で描画します。



※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



塗りつぶし



塗りつぶし-[長方形] ボタン

画像に塗りつぶされた長方形を描画します。画像上で始点から斜め方向にドラッグします。カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。



「塗りつぶし-[長方形]」ボタンをクリックします。

画像上で始点から斜め方向にドラッグすると四角形が描画されます。

Shift キーを押しながらドラッグすると、正方形を描画することができます。

カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



塗りつぶし-[円] ボタン

画像に塗りつぶされた円を描画します。画像上で始点から斜め方向にドラッグします。カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。



「塗りつぶし-[円]」ボタンをクリックします。

画像上で始点から斜め方向にドラッグすると円が描画されます。

Shift キーを押しながらドラッグすると、正円を描画することができます。

カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。





塗りつぶし-[多角形] ボタン

画像に塗りつぶされた多角形を描画します。始点をクリックして、次の位置へクリックして多角形の角を指定していきます。カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。



「塗りつぶし-[多角形]」ボタンをクリックします。

始点をクリックして、次の位置へクリックしてしていきます。右クリックで多角形を確定します。カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。

※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



塗りつぶし-[平行四辺形] ボタン

画像に塗りつぶされた平行四辺形を描画します。カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。



「塗りつぶし-[平行四辺形]」ボタンをクリックします。

画像上の2点をクリックして、平行四辺形の一边を決めます。

そのままドラッグすると平行四辺形を形成します。カラーパネルで選択した色で塗りつぶします。

※平行四辺形の描画方法は、109ページをご参照ください。
※カラーパネルの使い方の詳細は、114ページをご参照ください。



文字

T 文字 ボタン 画像に文字を貼り付けます。

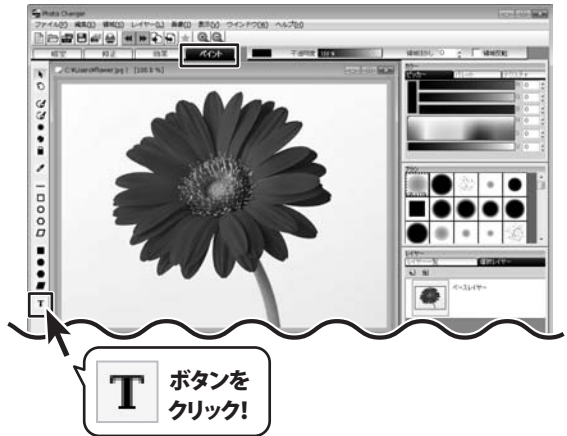
1 画像を表示します

[ペイント]タブをクリックして、ペイント画面を表示します。

文字を貼り付けたい画像を開きます。

(画像の開き方は22ページを参照ください)

T 「文字」ボタンをクリックします。

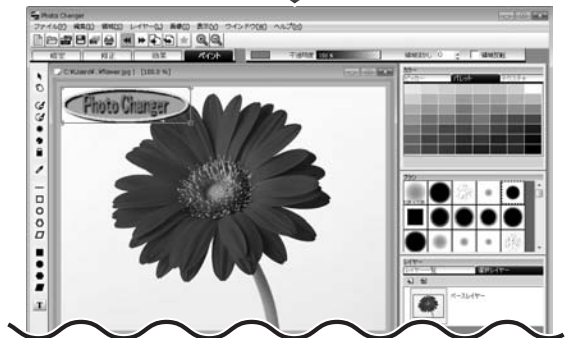
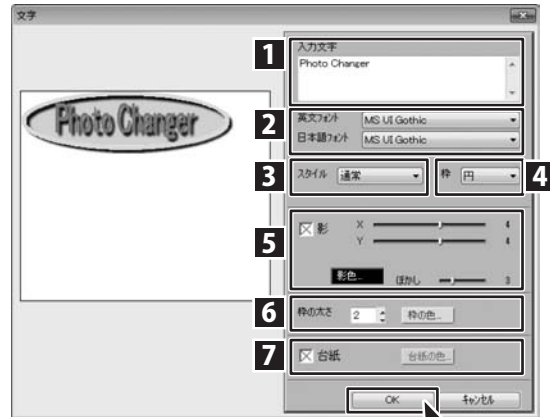


2 文字の設定をします

文字画面が表示されます。

- 1** 入力文字の欄に、文字を入力します。
(例：Photo Changer)
- 2** 英文フォント、日本語フォントを選択します。
- 3** スタイルを選択します。
- 4** 枠を選択します。(枠なし、円、長方形)
- 5** 影をつける場合は、チェックボックスをクリックして、チェックを入れます。
- 6** **4** の枠で、円か長方形を選択した場合、枠の太さ、色を設定します。
- 7** **4** の枠で、円か長方形を選択した場合、台紙 (枠内) の色を選択します。

設定が終わりましたら、**OK** ボタンをクリックします。

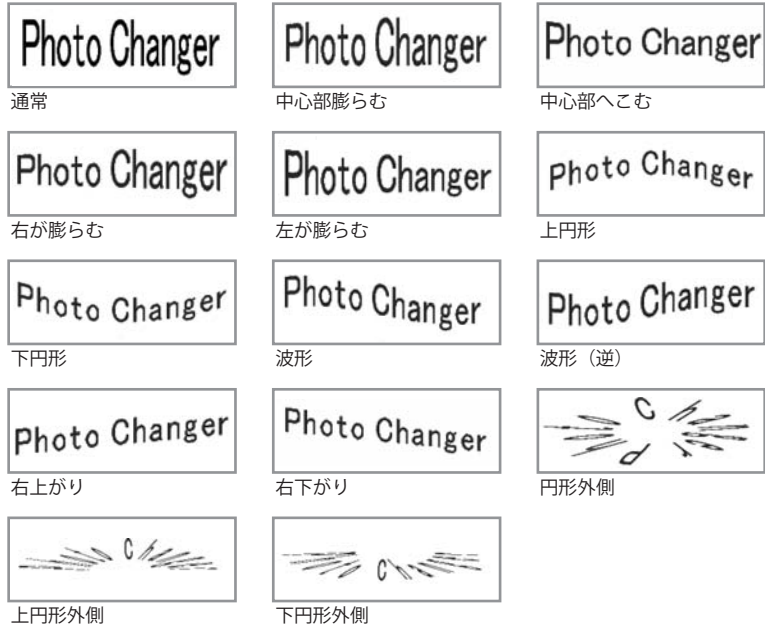


文字画面設定



スタイル **通常**

文字画面の「スタイル」▼をクリックして、下図の文字スタイルを選択します。



色の設定

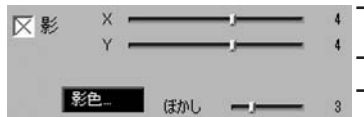
影色 **枠の色...** **台紙の色...** をクリックすると、色の選択画面が表示されます。

色を選択して、OK ボタンをクリックします。



影の設定

影のチェックボックスにチェックを入れると、左図の影設定メニューが表示されます。

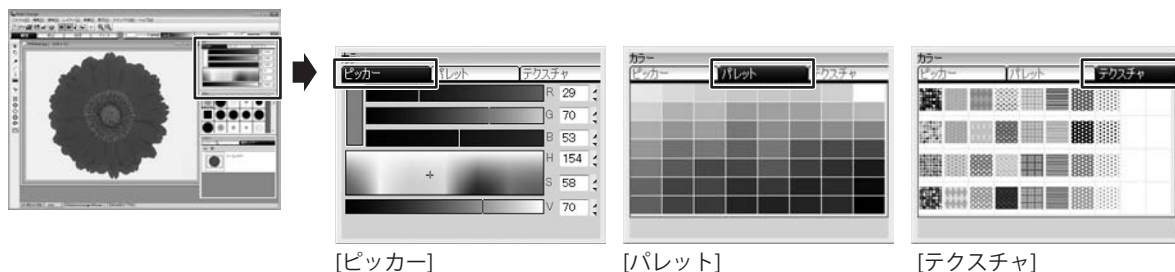


「X」バーで、横方向の位置を指定し、「Y」バーで縦方向の位置を指定します。

「ぼかし」バーで、影をぼかす大きさを設定します。
数値が大きいほど、ぼかしが大きくなり薄い色になります。

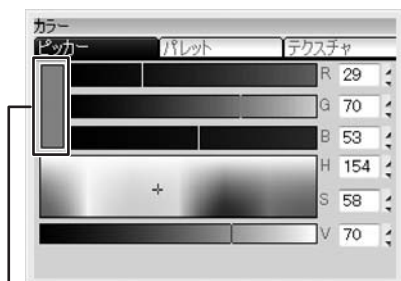
カラーパネルの使い方

「カラーパネル」には、[ピッカー] [パレット] [テクスチャ]があり、表示したいカラーパネルのタブをクリックして表示します。表示されたパネル上で描画色の選択します。



ピッカー

「ピッカー」では、RGB、HSV形式から色を作成します。



作成した色をプレビュー

RGB

光の三原色である赤 (Red)、緑 (Green)、青 (Blue) の混色方法で色を表現します。R、G、Bの各バーをドラッグまたは数値入力 (0 ~ 100) して、色を作成します。作成した色は、バーの左側にプレビューされます。

HSV

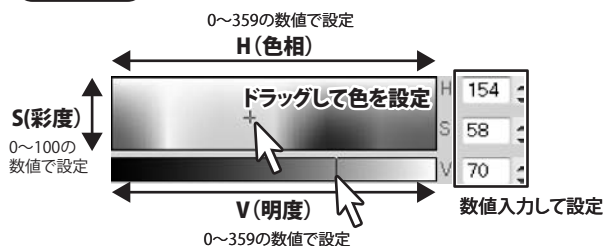
色相 (Hue)、彩度 (Saturation)、明度 (Value) の混色方法で色を表現します。H (色相)、S (彩度) のバーの中をクリック、または数値で入力してから、V (明度) で明るさを設定します。V (明度) のバーの位置が、右側 (白) で数値が高いほど明るくなります。

RGB



数値入力して設定
0~100の数値で設定

HSV



カラーパネルの使い方

パレット

「パレット」では、登録されている色をクリックして、色を選択します。



使用したい色のマスをクリックすると、画面の上にあるオプションバーの描画色表示に、選択した色が反映されます。

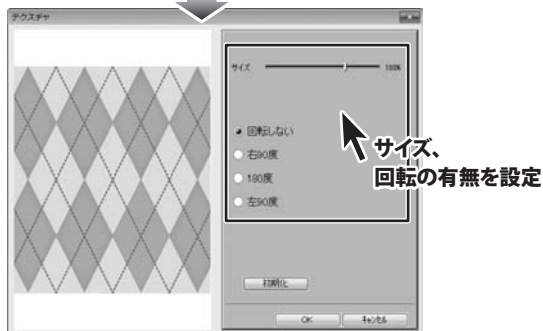


テクスチャ

「テクスチャ」では、選択した素材を描画色として使用します。



使用したい素材のマスをクリックします。



テクスチャ画面が表示されます。

テクスチャのサイズを変更する場合は、バーをドラッグしてパーセント数値を設定します。

素材を回転させたい場合は、○右90度、○180度、○左90度のいずれかをクリックして選択します。

初期化 ボタンをクリックすると、設定前に戻ります。

設定が完了しましたら、**OK** ボタンをクリックします。

memo

テクスチャに素材を登録する

「テクスチャ」では、空欄のマスをクリックすると、画像ファイルを読み込んでテクスチャに素材を登録することができます。

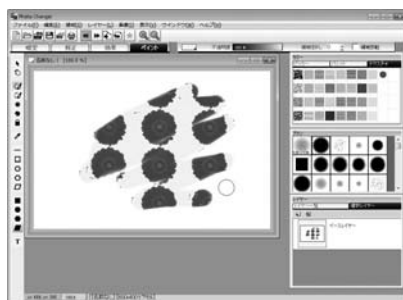
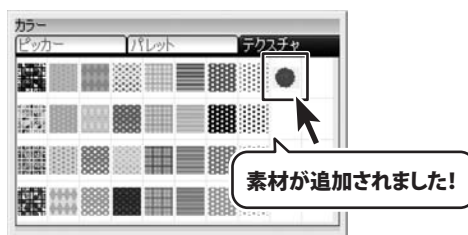
- 1 テクスチャパネルの右側縦2列は、初期設定では空欄になっています。空欄のマスを右クリックして、画像を読み込み、新たにテクスチャ素材を追加することができます。

※既存の素材のマスを右クリックすると、同じくファイルを読み込みます。既存の素材は、置き換えられて元に戻らないため、ご注意ください。

- 2 ファイルを開く画面が表示されますので、テクスチャ素材にしたい画像ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

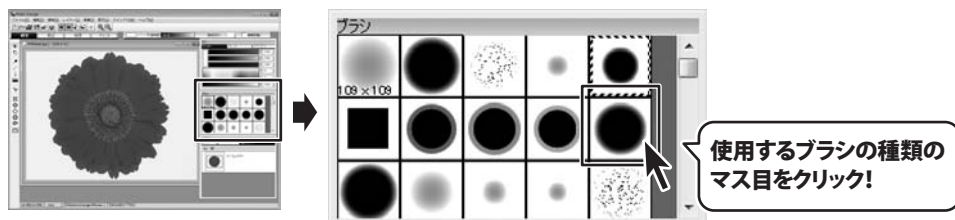
※読み込み可能な画像のファイル形式
 bmp / dib / ico / jpg / jpeg / orf / pict / pct
 png / psd / rgd / tga / tif / tiff

- 3 テクスチャ素材が登録されました。既存のテクスチャと同じように、クリックするとテクスチャ画面が表示されて設定を行えます。



ブラシパネルの使い方

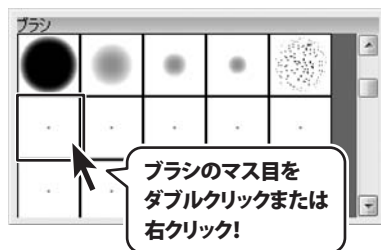
「ブラシパネル」では、描画に使用するブラシの種類のマスをクリックして選択します。



ブラシの大きさと種類を編集する

「ブラシ」では、ブラシの大きさと種類を編集して、オリジナルのブラシを登録することができます。

- 1 ブラシパネルを下方へスクロールすると、未設定のマサ目があります。
オリジナルのブラシを登録する場合は、マサ目をダブルクリックまたは右クリックします。



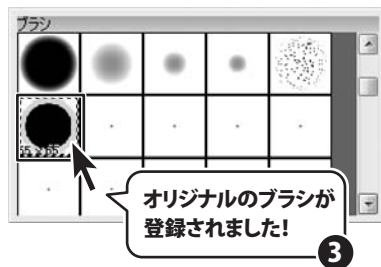
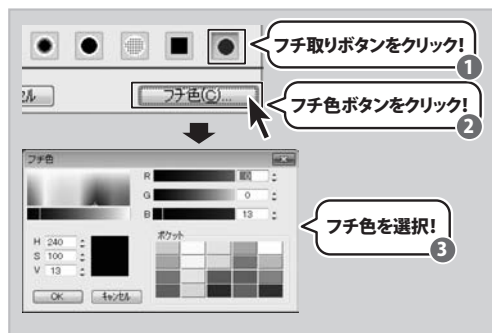
- 2 ブラシの設定画面が表示されますので、設定を行います。

- ① ブラシの大きさを設定します。
幅、高さを数値入力して大きさを決めます。
または、画面左側のブラシプレビューに表示されている赤いポイント(■)をドラッグして、大きさを変更することもできます。

※ドラッグして大きさを変更する場合、Shift キーを押しながらドラッグすると縦横比の異なる大きさにできます。(楕円、長方形)

- ② ブラシの種類を選択します。

右側のフチ取りボタンを選択した場合は、「フチ色」ボタンをクリックして、フチ色画面でフチ色を選択します。



ソフトウェアをダウンロードする

「Photo Changer」を購入し、ユーザー登録をしていただいたお客様には、弊社ホームページから「Photo Changer」を5回までダウンロードすることができます。ネットブックご利用のお客様、CD、DVDドライブがないパソコンをご利用のお客様はソフトウェアをダウンロードしてお使いいただくことができます。

- ユーザー登録時のメールアドレスが必要です。
- 製品のシリアルナンバーをご用意ください。

※ダウンロードはお客様のパソコンに外部のファイルが保存されることをいいます。
※ユーザー登録がお済みでない場合には、弊社ホームページからユーザー登録を行ってください。
※本サービスは、サービスの一部または全てを終了することがあります。
これによりユーザーおよび第三者に損害が生じた場合、理由の如何を問わず一切の責任を負わないものとします。

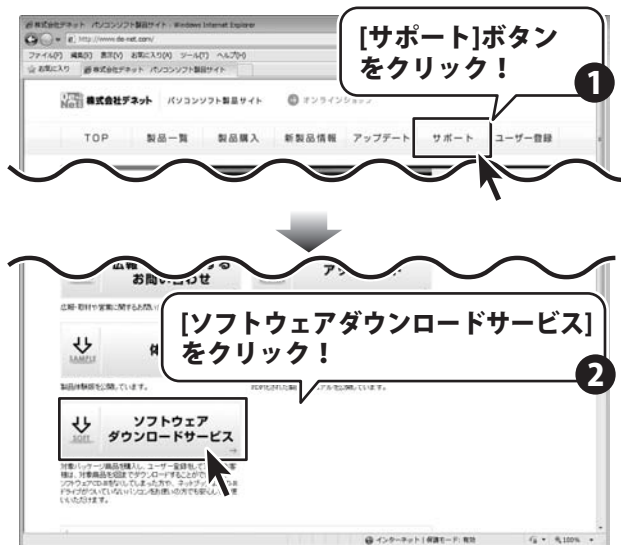
1 弊社のホームページを表示します

お使いのブラウザを起動して、アドレス欄に弊社ホームページのURL
http://www.de-net.com/
を入力します。
(ここでは、Internet Explorerを例に説明します)



2 「ユーザー向けソフトダウンロード」ページを表示します

弊社のホームページが表示されましたら、[サポート]ボタンをクリックし、表示されるページの[ソフトウェアダウンロードサービス]をクリックしてください。

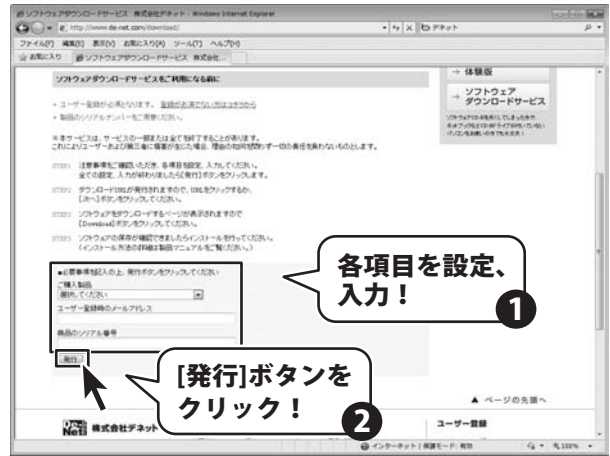


ソフトウェアをダウンロードする

3

「ユーザー向けソフトダウンロード」ページ内の各項目を設定、入力します

「ユーザー向けソフトダウンロード」ページが表示されましたら、注意事項をご確認いただき、各項目を設定、入力してください。すべての設定、入力が終わりましたら、[発行]ボタンをクリックします。

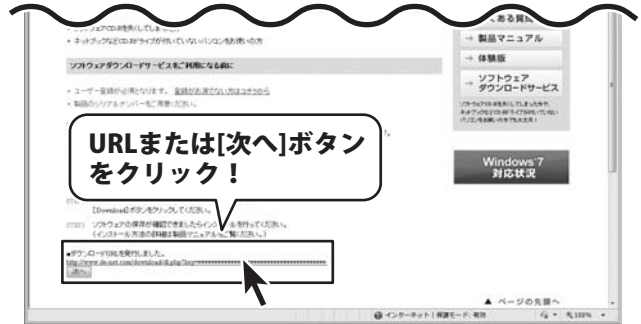


4

ファイルをダウンロードします

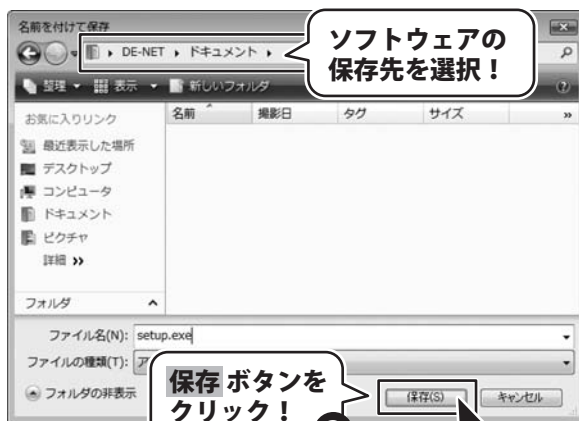
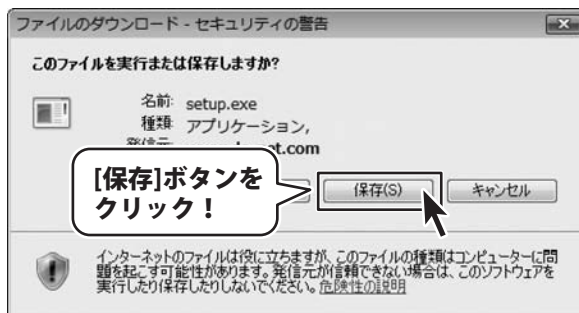
ダウンロードURLが発行されますので、URLをクリックするか、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ソフトウェアをダウンロードするページが表示されますので、[Download]ボタンをクリックしてください。



ソフトウェアをダウンロードする

ファイルのダウンロード画面が表示されたら、[保存]ボタンをクリックします。名前を付けて保存画面が表示されますので、ソフトウェアの保存場所を選択して、[保存]ボタンをクリックしてください。ソフトウェアの保存が確認できましたら必要に応じてインストールを行ってください。(インストール方法の詳細は3~4ページをご覧ください。)



インストール・起動について

Q：ソフトのインストールや起動ができません

A：本ソフトをインストールする際、ウイルス対策などの常駐ソフトや他のアプリケーションが起動していませんか？必ず、すべて終了してからインストール作業を行ってください。

また、HDD(ハードディスクドライブ)の空き容量が極端に少ない状態、Windowsのシステムが不安定になってますと、インストール作業を行うことや本ソフトが正常に起動することができない場合があります。

お使いのパソコンのWindows OSは、Windows Update等で常に最新の状態を保ってください。

Q：インストールしようとすると『・・・にアクセスする権限がありません。インストールを継続できません。』といったメッセージ（Windows XP）や次のような画面（Windows VistaおよびWindows 7）が表示されてインストールができません 例：Windows Vista



A：管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動していませんか？本ソフトをご利用の際には予め管理者権限を持ったユーザーアカウントでパソコンを起動してからインストール作業を行ってください。

操作関連

Q：対応画像形式は？

A：画像読込・保存ともにbmp / dib / ico / jpg / jpeg / orf
pict / pct / png / psd / rgd / tga / tif / tiff形式が対応しています。

Q：画像を作成することはできますか？

A：ペイント機能を使用することでかんたんなイラストを描いて保存することができます。

Q：「戻る」「進む」で何段階まで戻ったり進むことができますか？

A：回数に制限はありません。

Q：画像ファイルを開こうとすると、エラーメッセージが出て開けない

A：画像データが破損している可能性があります。

Q：編集した画像ファイルを印刷することはできますか？

A：印刷できます。

Q：編集して上書き保存した画像ファイルを元に戻せますか？

A：上書き保存後の画像ファイルを元に戻すことはできません。
必要に応じて別の名前で保存してください。

その他

Q：インターネットに接続されていないパソコンでソフトを使いたいのが可能ですか？

A：可能です。但し、本ソフトに関する最新情報やサポートページ、本ソフトが更新された場合など、その更新データを取得する為にインターネット接続環境が必要となります。

Q：SDカードに入っている写真を表示させたい。

A：Exif仕様準拠の撮影データがあれば表示できます。
また、USBマスタストレージ接続している場合でも、
Exif仕様準拠のドライバとして扱われるデジタルカメラの場合は可能です。

Q：CD-Rなど外部メディアに保存したい

A：本ソフトには、外部メディアへの保存機能は備えておりません。
ご利用パソコン内にデータを保存した後、その保存データを外部メディアへコピー等行ってください。
※外部メディアに関するご質問は各メーカー様へお問い合わせください。

Q：「Photo Changer」は、他のパソコンと共有して使用できますか？

A：本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作してください。
ネットワーク経由等でご利用いただくことはできません。

Q：対応しているペンタブレットは？

A：ワコム社製とYutron社製のタブレット対応です。

Q：画面の端が切れて表示される

A：画面解像度を推奨サイズ以上に変更します。

確認方法

[Windows Vista]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→個人設定をクリックします。
2. 個人設定ウィンドウ内の、画面の設定を左クリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できない物もあります。

[Windows 7]

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

Q：ボタンや文字などがずれていたり、画面の表示がおかしい

A：お使いのパソコン画面の設定をご確認ください。

確認方法

[Windows Vista]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→個人設定を右クリックします。
2. フォントサイズ (DPI) の調整をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
既定のスケール (96DPI) にチェックを付け、「OK」をクリックします。
4. パソコンを再起動した後、本ソフトを起動させて画面表示をご確認ください。

[Windows 7]

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

DPI設定につきましては、Windows OSでの設定となるため、詳細についてはMicrosoft社へお尋ねください。
また、その他のソフト、パソコン本体、その他の周辺機器につきましても各メーカー様へお尋ねください。
弊社では「Photo Changer」以外に関する詳細につきましては一切の責任を負いかねます。

MEMO

MEMO

ユーザーサポート

問い合わせについて

お客様よりいただいたお問い合わせに返信できないことがあります。

問い合わせを行っているのに関わらず、サポートからの返事がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられます。

FAX及びe-mailでのお問い合わせの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

弊社ホームページ上から問い合わせの場合、弊社ホームページ上からサポート宛にメールを送ることが可能です。

弊社ホームページ

<http://www.de-net.com/>

問い合わせページ

<http://www.de-net.com/contact/>

『ご購入後のお問い合わせ』をお選びください。

直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合

○ソフトのタイトル・バージョン

例：「Photo Changer」

○ソフトのシリアルナンバー

例：DE268-XXXXX-XXXXXX

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例：Windows 7、WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例：Internet Explorer 7

・パソコンの仕様

例：NEC XXXX-XXX-XX / Pentium III 1GHz / HDD 120GB / Memory 1GByte

○お問い合わせ内容

例：～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先(正確にお願いいたします)

メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

無料ユーザーサポート

E-mail : ask99pc@de-net.com

Tel : 048-640-1002

Fax : 048-640-1011

サポート時間 : 10:00~17:30 (土・日、祭日を除く)

※通信料はお客様負担となります。

※パソコン本体の操作方法やその他専門知識に関するお問い合わせにはお答えできない場合があります。

※お客様のご都合による返品はできません。

※お問い合わせ内容によっては返答までにお時間をいただくこともあります。